メディアリテラシーの育成研究

Ⅰ　研究主題

多様なメディアから発信される情報を的確にとらえ
正しく判断し活用できるメディアリテラシー育成のための研究

Ⅱ　研究主題設定の理由

「ＩＴ革命」とも呼ばれる情報化は、私たちの生活を便利にするとともに、大幅な社会の変革をもたらしている。特に、携帯電話やインターネットを活用した高度情報化は、ますます進展することが予想される。このような高度情報化社会においては、児童生徒に多様なメディアからの溢れる情報を主体的に取捨、選択、活用できる能力を育て、高度情報化社会に積極的に参画する態度を身につけさせるなど、いわゆる「情報活用能力」を育成することが重要である。

本市においては、「足利市の教育目標」の６４番に「身のまわりの情報を整理し、活用する能力を身につける。」、６５番に「情報を的確にとらえ、自ら正しく判断し、活用できる。」を児童期・青年期の目標とし、情報活用能力の育成を掲げている。現在、各小中学校においては、情報教育指導計画に沿って、学習指導の改善を図ると共に「情報活用能力」の育成を図っている。

「情報活用能力」は、情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度の３つの観点から構成されている。これまでの情報教育では、情報活用の実践力の要素のひとつであるコンピュータ技能の習得を行ってきた。しかし、現在は、高度情報化の影の部分として、チェーンメールや掲示板、出会い系サイトなどに起因する児童生徒指導上の問題も増加し、情報活用の実践力の要素である適切な情報の収受・発信する能力の育成や情報社会に参画する態度の要素である情報モラルの育成が緊急の課題である。

そこで、本研究では、メディアリテラシー（メディアからの情報を的確にとらえ正しく判断し活用する力）を切り口として、情報活用能力の３観点を捉え直し、日々の授業の中で、継続的・系統的にメディアリテラシーの育成を図るための実践的な研究に取り組むことにした。

Ⅲ　研究推進構想

1　研究の基本的な考え方

（1）コンピュータ教育ではなく、情報と子どもとの関わりの研究であることを根底に置く。

（2）学習指導改善のため、メディアを活用するねらいを明確にし、本研究の有用感を高める。

（3）児童生徒の学習による変容を形成的に捉える評価の工夫をする。

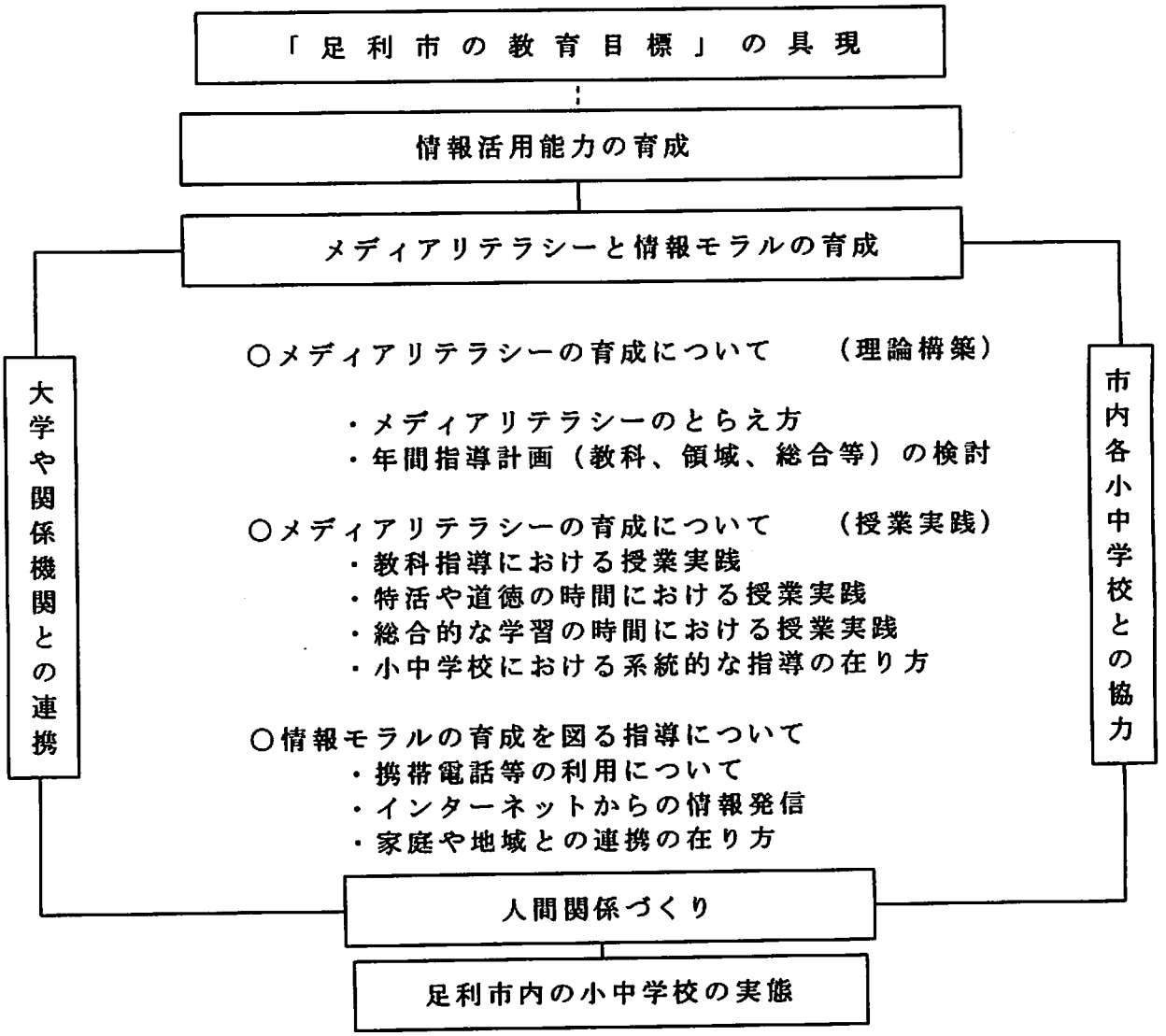
（4）保護者や地域に情報を発信することを通して研究を推進する。

（5）小学校、中学校の研究交流を積極的に実施する。

（6）小中教研情報メディア部会と連携して研究を広げる。

（7）上智大学教授等の助言を受けながら、研究を深める。

2　研究推進構想図



3　研究の内容

（1）　メディアリテラシーの育成について（理論構築）

・メディアリテラシーのとらえ方を明確にし、共通理解を図る。

・各教科・特活・道徳・総合学習等の年間指導計画を検討し、メディアリテラシー育成の視点を明確にする。

・小中学校９か年について一貫した視点で情報教育指導計画の見直しを図る。

（2）　メディアリテラシーの育成について（授業実践）

・国語科等におけるメディアリテラシーの学習指導教材

・特活、道徳等の情報モラル教材

・総合的な学習の時間におけるメディアリテラシー学習教材

・小中学校における指導の系統性

・各教科・領域の具体的な授業実践を通して、指導方法・学習教材を明らかにする。

（3）　情報モラルの育成を図る指導について

・携帯電話等の利用についての指導の在り方（関係機関との連携）

・インターネットからの情報発信（教育研究所や大学、関係機関との連携）

・家庭や地域との連携の在り方（ＰＴＡとの連携）

Ⅳ　研究の実際

1　研究の実践

（1）１７年度の取り組み

・国語科におけるメディアリテラシーの育成指導計画の作成

・情報モラルに関する指導計画作成のための情報収集

・学習指導改善ＩＣＴ機器のよさを生かした指導法の研究

（電子情報ボード、プロジェクター）

・保護者、地域との連携の模索

（本校ＰＴＡ、西中学校、西中ＰＴＡ、西中地区子育てスクラムの会、公民館）

・保護者向け「情報教育だより」発行

・メディアリテラシーを育成する授業研究

１１月　国語科２年　学級活動５年　授業公開研究会開催

２　月　国語科１年　国語科６年　授業公開研究会開催

・教職員のメディアリテラシー育成に関わる研修

８　月　足利市教育委員会主催学習指導研修会(情報教育)研究員参加

１１月　上智大学　伊藤 潔 先生の講話

２　月　足利工業大学　辻澤 隆彦 先生の講話

３　月　両毛インターネット　新堀 龍明 氏の講話

（２）１８年度の取り組み

・国語科におけるメディアリテラシーの育成指導計画の見直し
・社会科、理科におけるメディアリテラシーの育成指導計画の作成
・情報モラルに関する指導計画作成
・コンピュータリテラシーの指導学年のめやすおよびチェックシートの作成
・学習指導改善ＩＣＴ機器のよさを生かした指導法の研究
（電子情報ボード、液晶ﾍﾟﾝﾀﾌﾞﾚｯﾄ、ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ、モラル指導ｿﾌﾄｳｪｱ）
・保護者、地域との連携の模索
（本校ＰＴＡ、西中学校、西中ＰＴＡ、西中地区子育てスクラムの会、公民館、山前ふれあい祭り実行委員会）
・保護者向け「情報教育だより」発行
・メディアリテラシーを育成する授業研究

９月　国語科３年　国語科４年　授業研究会開催
１１月　国語科２年　学級活動６年　授業公開研究会開催
１月　国語科１年　総合的な学習の時間５年　授業研究会開催
２月　国語科１年　総合的な学習の時間５年　授業公開研究会開催

・教職員の情報モラル育成に関わる研修

著作権に関する冊子による学習会

「はじめての著作権講座 著作権って何？」
「 はじめての著作権講座 II　こんなときあなたは？」
「著作権Ｑ＆Ａ（市町村のしごとと著作権）」
「 マルチメディアと著作権（半田正夫著）」
「 学校教育と著作権」
「 私的録音録画と著作権」
「 図書館と著作権」

研修および学習教材サイトの紹介

CRIC（著作権情報センター）
楽しく学ぶ著作権 http://www. kidscric. com/index. html

２　研究の成果と課題

（１）研究の成果

・国語科、社会科、理科のメディアリテラシーの育成指導計画の作成
・情報モラル指導計画の作成
・保護者向け情報安全教育と啓発
・児童及び、教職員の情報モラルに関する意識の向上

（２）今後の課題

・作成したメディアリテラシーの育成指導計画の実践と修正
・他の教科・領域、行事計画などにおけるメディアリテラシー育成の位置づけ
・具体的な情報モラルに関する指導内容の充実
・保護者向け情報安全教育の実施
・地域との連携　＝　情報モラルの基礎となる社会モラルの育成

メディアリテラシーの育成指導計画（国語科１年）

学年	巻	題材名	情報活用能力の3観点	メディアリテラシーに関わる内容と方法																						学習内容（メディアリテラシーの育成に関わる内容）
				情報活用の実践力											情報の科学的理解		情報社会に参画する態度										
				判断	情報手段の活用										情報手段の特性		情報モラル										
					収集							発信								ルール		マナー					
				情報の取捨選択・整理	人的情報源	電子メディア（CD・DVD等）	印刷メディア（本・新聞・雑誌等）	放送メディア（テレビ・ラジオ）	学校外施設の活用	ネットワーク情報源	デジタルカメラ・ムービー（自己）	手紙・はがき	かべ新聞・新聞・紙芝居・カルタ等	デジタル画像（合成写真・グラフ・マップ）の活用	プレゼンテーション	ホームページ作成	コンピュータ情報処理のよさと必要性	アプリケーションソフトの活用	有害サイト	虚偽広告・詐欺情報	情報の信憑性	著作権	セキュリティー	プライバシー・肖像権など	電子会議室・掲示板等の利用	電子メールの使い方	電話・FAXの使い方	正しい姿勢（話む・書く・話す・聞く）	
1	上	はる	★																							伝えたいことを選び相手に分かるように話す。
		おはなし よんで																								
		どうぞ よろしく																								
		うたに あわせて あいうえお																								
		たんけんしたよ，みつけたよ	★																						★	知らせたいことを思いが伝わるように場所の名前などを書く。丁寧な言葉で話す。
		かきと かぎ																								
		ともだち																								
		ねこと ねっこ																								
		はなの みち																								
		ことばを いれて，ぶんを つくろう																								
		あいうえおで あそぼう																								
		おばさんと おばあさん																								
		いろいろな くちばし																								
		口は口を口へを つかって かこう																								
		おもちやと おもちゃ																								
		おむすび ころりん																								
		すきな もの，おしえて		★																					★	大事なことを落とさないようにしながらよく聞く。友達の好きなものが分かるように書く。
		ほんと なかよし	★			★															★				★	見つけた本のことを友達に分かるように話す。
		てがみを かこう									★														★	目的や相手のことを考えながら手紙を書く。
		みんなに しらせたいこと	★												☆										★	みんなに知らせたいことを選び、話の順序を考えながら友達に分かるように話す。
		大きな かぶ																								
		かずと かんじ																								
		じどう車くらべ																								
		ことばで あそぼう																								
	下	くじら ぐも																								
		かんじの はなし																								
		しらせたいな，見せたいな									★														★	知らせたいことや見せたいことを考えながら相手に分かるように書く。
		かたかな																								
		ずうっと，ずっと，大すきだよ	★			★									★											友達に紹介したい本を選んで教科書に示された観点にそって紹介文を書き、友達に紹介する。
		日づけと よう日																								
		あつまれ，ふゆの ことば																								
		あめふりくまのこ																								
		ものの 名まえ																								
		おみせやさんごっこを しよう																								
		かたかなの かたち																								
		わたしは，なんでしょう																								
		どうぶつの 赤ちゃん			★	★	★																			
		にて いる かん字																								
		いい こと いっぱい，一年生	★	★	★										☆						★				★	必要な題材を集め、1年間の思い出が読む人によく分かるように順序を考えて書く。
		たぬきの 糸車	★			★															★				★	気に入っている本を選んで紹介する。友達が紹介する本に興味をもってきく。

メディアリテラシーの育成指導計画（国語科２年）

情報活用能力の3観点			メディアリテラシーに関わる内容と方法																									
			情報活用の実践力													情報の科学的理解		情報社会に参画する態度										
			判断	情報手段の活用												情報手段の特性		情報モラル										
				収集							発信										ルール			マナー				
学年	巻	題材名	情報の取捨選択・整理	人的情報源	電子メディア（CD・DVD等）	印刷メディア（本・新聞・雑誌等）	放送メディア（テレビ・ラジオ）	学校外施設の活用	ネットワーク情報源	デジタルカメラ・AT機器・スキャナ（処理）	手紙・はがき	かべ新聞・新聞・紙芝居・カルタ等	デジタル作品（表計算・グラフ・ワープロの活用）	プレゼンテーション	ホームページ作成	コンピュータ情報処理のよさと必要性	アプリケーションソフトの活用	有害サイト	虚偽広告・詐欺情報	情報の信憑性	著作権	セキュリティー	プライバシー・肖像権など	電子会議室・掲示板等の利用	電子メールの使い方	電話・FAXの使い方	正しい言葉（読む・書く・話す・聞く）	学習内容（メディアリテラシーの育成に関わる内容）
2	上	ふきのとう																										
		今週の ニュース				★	★																					ニュースとして知らせるのに必要なことを継続的に集める
		たんぽぽの ちえ																									★	時間の順序や理由を示す言葉を、表現できるようにする。
		かん字の ひろば①																										
		かんさつ名人に なろう																									★	主述に注意し、観察したことと自分の考えを分けて表現する。
		ともこさんは どこかな																									★	丁寧な言葉とふつうの言葉との違いに気をつけてはっきりした声で読む。
		同じ ぶぶんを もつ かん字																										
		かん字の 書き じゅん																										
		スイミー	★			★	★																				★	好きな本について友だちによく分かるように組み立てて書く。
		かん字の ひろば②																										
		もう すぐ 夏休み		★																							★	必要な事柄を収集する。
		丸, 点, かぎ																									★	「は」「を」「へ」、句読点などを的確に使う。
		おおきくなあれ																										
		あったらいいな, こんなもの																									★	
		カンジーはかせの大はつめい																										
		サンゴの海の生きものたち				★						★		★														必要なことを本などを使って調べ、分かったことを整理して書く。
		かん字のひろば③																										
	下	お手紙									★																★	登場人物にあててたてがみであることを考えながら書く
		何が どうした																									★	主語述語の意味を理解し、整った文を書き、発表し確かめ合う。
		かん字の読み方																										
		見たこと, かんじたこと		★																								
		お話がいっぱい				★	★																					やさしいよみものに興味を持ち、探して読む。
		こんなお話を考えた				★						★		★													★	自分の考えが明確になるように組み立てを考えて書く。
		かたかなで書くことば																										
		一本の木																										
		かん字の広場④																										
		いるか																										
		何に見えるかな																										
		音やようすをあらわすことば																										
		ことばであそぼう			★							★		★													★	大事なことを落とさないように書く。
		なかまのことばとかん字																										
		楽しかったよ, 二年生		★	★	★				★				★							★						★	書こうとする題材に必要なことを集める。
		かん字の広場⑤																										
		スーホの白い馬																										

メディアリテラシーの育成指導計画（国語科３年）

情報活用能力の3観点			メディアリテラシーに関わる内容と方法																									学習内容
			情報活用の実践力													情報の科学的理解		情報社会に参画する態度										
			判断	情報手段の活用												情報手段の特性					情報モラル							
				収集							発信										ルール			マナー				
学年	巻	題材名	情報の取捨選択・整理	人的情報源	電子メディア（CD・DVD等）	印刷メディア（本・新聞・雑誌等）	放送メディア（テレビ・ラジオ）	学校外施設の活用	ネットワーク情報源	デジタルカメラ・AV機器・スキャナ（取扱）	手紙・はがき	かべ新聞・新聞・紙芝居・カルタ等	デジタル機器（会計簿・グラフ・ワープロの活用）	プレゼンテーション	ホームページ作成	コンピュータ情報処理のよさと必要性	アプリケーションソフトの活用	有害サイト	虚偽広告・詐欺情報	情報の信憑性	著作権	セキュリティー	プライバシー・肖像権など	電子会議室・掲示板等の利用	電子メールの使い方	電話・FAXの使い方	正しい理解（読む・書く・話す・聞く）	学習内容（メディアリテラシーの育成に関わる内容）
3	上	つづけてみよう																										
		きつつきの商売		★							★													★	★			相手意識、目的意識を持って読む。手紙を書くときには大事なことを落とさずに書く。
		漢字の音と訓																										
		ありの行列																										
		漢字の広場①																										
		国語辞典を使おう																						★	★			言葉の意味にはいくつかあり、その文中ではどれが当てはまるか考える。
		わたしと小鳥とすずと																										
		おもしろいもの，見つけた												★												★	★	まとまりに気をつけて、伝えたいことをわかりやすく書く。
		様子をつたえる																						★	★	★	★	事実を加えて感じたことを分かりやすく伝える。
		くわしくする言葉												★										★	★			詳しくする言葉の正しい使い方。
		道あんないをしよう												★														順序が分かるように話したり、書いたりする。
		たしかめながら話す・聞く												★														
		三年とうげ																										
		本は友だち／本のさがし方	★			★			★												★							学校図書館の本の分け方を調べどこにどんな本があるか理解できるようにさせる。
		漢字の広場③																										
		キリン																										
		へんとつくり																										漢字マッチを用いてへんとつくりについて知り、漢字興味をもつ。
		「分類」ということ												★	★													分類が目の付け所によって違うことに興味を持ち、身の回りの事柄について調べ、発表して交流する。
		インタビュー																										気持ちよいインタビューされ方考える
		反対の意味の言葉																										
	下	ちいちゃんのかげおくり																										
		こそあど言葉																						★	★			指示語の働きについて知り、自分の表現や理解に生かす。
		漢字の広場④																										
		すがたをかえる大豆							★				★	★						★								本での調べ方を知り身近なものについて調べ分かりやすくまとめて発表する。
		食べ物はかせになろう							★				★	★						★								調べ学習の第一歩として、課題を具体的に設定することを学ばせ習慣づける。
		本で調べる	★											★						★								実際に、図鑑や事典などを用いて調べ確かめる。
		カンジーはかせの音訓遊び歌																						★	★			活用について意識をもち送りがなに注意して漢字を書く。
		送り仮名																						★	★			送りがなによって意味の変わる言葉から使い方を確かめる。
		せつめい書を作ろう										★		★	★									★	★			横書きを意識して分かりやすく説明する文章を書く。
		漢字の広場⑤																										
		名前をつけよう												★	★									★				お互いの考えを分かり合い、考えを整理して話し合う習慣を付ける。
		漢字の意味										★												★	★			漢字には意味があることを知り、感じに興味を持って積極的に使うとうにする。
		たから物をさがしに																										
		漢字と友だち																										
		漢字の広場⑥																										
		モチモチの木																										
		巻末資料教材							★			★					★											世界の「こんにちは」を知り、「ありがとう」「さとうなら」などを加えて名刺交換する。ローマ字に興味をもつ。

メディアリテラシーの育成指導計画（国語科４年）

学年	巻	題材名	情報の取捨選択・整理	人的情報源	電子メディア（CD・DVD等）	印刷メディア（本・新聞・雑誌等）	放送メディア（テレビ・ラジオ）	学校外施設の活用	ネットワーク情報源	デジタルカメラ・AV機器・スキャナ（収集）	手紙・はがき	かべ新聞・新聞・紙芝居・カルタ等	デジタル情報（静止画・グラフ・ワープロの活用）	プレゼンテーション	ホームページ作成	コンピュータ情報処理のよさと必要性	アプリケーションソフトの活用	有害サイト	虚偽広告・詐欺情報	情報の信憑性	著作権	セキュリティー	プライバシー・肖像権など	電子会議室・掲示板等の利用	電子メールの使い方	電話・FAXの使い方	正しい言葉（読む・書く・話す・聞く）	学習内容（メディアリテラシーの育成に関わる内容）
情報活用能力の3観点			メディアリテラシーに関わる内容と方法																									
			情報活用の実践力													情報の科学的理解		情報社会に参画する態度										
			判断	情報手段の活用												情報手段の特性					情報モラル							
				収集							発信										ルール			マナー				
4	上	つづけてみよう																										
		三つのお願い																										
		手紙を書く																						★	☆			書きたい事柄を確実に伝え、相手や内容を考えて、常態、敬体の違いを明確にして書く。
		漢字の組み立て															☆											漢字マッチを用いてへんとつくりについて知り、漢字興味をもつ。
		「かむ」ことの力																										
		漢字の広場①																										
		春のうた																										
		漢字辞典の使い方										★																漢字辞典の使い方を知り、学習に生かす。（ワープロの文字変換や入力方法に関連）
		新聞記者になろう				☆								★	★				★	☆				★	★			新聞の役割や作り方に興味をもち身近な出来事を取材して伝えたいことを明確な記事にする。
		いろいろな符号												★										★	★			正しく句読点などの符号を用いる大切さと必要性を理解する。
		漢字の広場②																										
		ローマ字										★					☆							★	★			ローマ字に興味をもち、簡単に単語を読んだり書いたりする。ソフトウエアキーボードやタイピングソフトを活用する。
		伝言はまちがえずに		★										★										★	★	★	★	大事なことは落とさずに話し、メモの取り方を工夫して聞く。
		白いぼうし																										
		本は友達				★															★							「お薦めの本」カード集を作る。
		本のさがし方	★																									学校図書館の本の分け方を調べどこにどんな本があるか理解できるようにさせる。
		漢字の広場③																										
		ぼく																										
		「伝え合う」ということ	★	★					★					★	★		★			★	☆							「手と心で読む」をきっかけに、点字などの伝えあう方法に興味をもち課題を持って調べ発表する。点字変換ソフトの活用。
		にた意味の言葉																						☆	★			類義語の意味の違いに気をつけ「どの場面ではどの言葉を使うか」という「言葉の違い」に関心をもつ。
		漢字の広場④																										
	下	一つの花																										
		文と文のつながり																						☆	★			接続語の働きを知り自分の表現や理解に生かす。
		アップとルーズで伝える								★				☆	☆									★	★			目的にあわせた伝え方を考える
		四年三組から発信します								★				★	★		☆											
		選んで伝える	★							★							★											
		漢字の広場⑤																										
		いろいろな意味をもつ言葉										★												★	★			多義語について知り、言葉への興味を広げる。
		生活を見つめて	★	★									☆	☆						★		★						生活の中で疑問に思ったことをアンケートなどで調べ、分かったこと考えたことを報告する文を書き、交流する。
		表やグラフにまとめる	★										★	★			☆			★								アンケートの取り方や、まとめ方を知る。表の良さグラフの良さに気付く。
		熟語の意味										★												★	★			熟語の意味のとらえ方について理解し、言葉への興味を深める。
		話し合って決めよう																						☆				合意点を見つけようとしながら発言し話し合いによって物事を決める楽しさを知る。
		つぶやきを言葉に																										
		言葉遊びの世界												★	★									★	★			いろいろな言葉遊びを知って興味をもち、調べたり考え足りして発表し交流して言葉についての興味を広げる。
		漢字の広場⑥																										
		カンジーはかせの漢字しりとり																										
		ごんぎつね																										
		巻末資料教材	★							★		★		★	★		☆				★						★	写真と自分の作った俳句を様々なものに加工して表現する。

メディアリテラシーの育成指導計画（国語科５年）

情報活用能力の3観点			情報活用の実践力													情報の科学的理解		情報社会に参画する態度										学習内容（メディアリテラシーの育成に関わる内容）
			判断	情報手段の活用												情報手段の特性		情報モラル										
				収集							発信										ルール			マナー				
学年	巻	題材名	情報の取捨選択・整理	人的情報源	電子メディア（CD・DVD等）	印刷メディア（本・新聞・雑誌等）	放送メディア（テレビ・ラジオ）	学校外施設の活用	ネットワーク情報源	デジタルカメラ・AV機器・スキャナ（撮影）	手紙・はがき	かべ新聞・新聞・紙芝居・カルタ等	デジタル表現（表計算・グラフ・ワープロの活用）	プレゼンテーション	ホームページ作成	コンピュータ情報処理のよさと必要性	アプリケーションソフトの活用	有害サイト	虚偽広告・詐欺情報	情報の信憑性	著作権	セキュリティー	プライバシー・肖像権など	電子会議室・掲示板等の利用	電子メールの使い方	電話・FAXの使い方	正しい言葉（読む・書く・話す・聞く）	
5	上	続けてみよう	★			★										★				★	★							新聞記事を話題にしたスピーチに関心をもち続ける意欲をもつ。
		新しい友達																										
		漢字の成り立ち																										
		お願いの手紙，お礼の手紙																						★	★			敬語を意識しながら、依頼状、お礼状の書き方を知って書き、生活に生かす意欲をもつ。
		敬語																						★	★		★	依頼状、お礼状を書くときに必要な敬語表現を知り、敬語に注意して、手紙が書けるようにする。
		サクラソウとトラマルハナバチ																										
		晴間／海雀／雪																										
		言葉の研究レポート	★											★	★					★				★	★		★	レポートの書き方を知り、言葉について調べたことをレポートに書いて交流し言葉への関心をさらに深める。
		仮名づかいの決まり																						★	★			仮名遣いのきまりを確認し、自分の書く文章中に生かす。
		インタビュー名人になろう	★	★	★															★	★							目的に沿って尋ねることを整理し、相手に分かりやすく話したり、答えを正確に聞いたりする。
		漢字の広場①																										
		千年の釘にいどむ																										
		本は友達				★															★							
		漢字の広場②																										
		未確認飛行物体																										
		カンジー博士の暗号解読																						★	★			同音の漢字を読んだり書いたりする。
		人と「もの」とのつき合い方	★			★				★				★	★					★							★	ゴミ問題をきっかけに自分なりに課題をもって調べ発表して交流しまとめようとして書く。
		漢字の広場③																										
		和語・漢語・外来語																										
		巻末教材																						★	★			ファックスやメールは簡略に書くことが必要だが粗略にならないよう礼を尽くすようにさせる。
	下	わらぐつの中の神様																										
		方言と共通語	★				★		★											★				★	★			方言と共通語の違いとそれぞれのよさを理解し、関心を深める。
		漢字の広場④																										
		言葉の組み立て												★										★	★			語句に関する種別、複合語についての理解を深める。
		ニュース番組作りの現場から	★			★														★								自分で伝えたいことや意図が伝わるように話の組み立てを工夫して適切な言葉遣いで話す。
		工夫して発信しよう	★			★	★		★	★				★	★					★	★	★	★				★	自分で伝えたいことや意図が伝わるように工夫して発信する。
		編集して伝える	★		★	★			★	★				★	★					★	★	★	★					集めた材料を目的に合わせて整理加工して、ふさわしい方法で発信する。
		漢字の広場⑤																										
		ねぎぼうず／ケムシ・――――／耳／線																										
		漢字の読み方と使い方																										
		「失敗」をめぐって																										
		物語を作ろう										★					★							★	★			写真を元に想像を広げ表現などについて考え物語を作ろう。
		どんなとき，だれに										★												★	★			目的や場に応じて言葉遣いがどのように変わるか考えながら書く。語感や言葉の使い方に関心をもつ。
		言葉や表現のちがいから		★	★		★																					敬意表現の広がりを知る。
		漢字の広場⑥																										
		同じ読み方の熟語																										
		大造じいさんとガン																										

メディアリテラシーの育成指導計画（国語科６年）

情報活用能力の3観点			メディアリテラシーに関わる内容と方法																									
			情報活用の実践力													情報の科学的理解		情報社会に参画する態度										
			判断	情報手段の活用												情報手段の特性		情報モラル										
				収集							発信										ルール			マナー				
学年	巻	題材名	情報の取捨選択・整理	人的情報源	電子メディア（CD・DVD等）	印刷メディア（本・新聞・雑誌等）	放送メディア（テレビ・ラジオ）	学校外施設の活用	ネットワーク情報源	デジタルカメラ・ムービー・スキャナ（活用）	手紙・はがき	かべ新聞・新聞・紙芝居・カルタ等	デジタル新聞（表計算・グラフ・ワープロの活用）	プレゼンテーション	ホームページ作成	コンピュータ情報処理のよさと必要性	アプリケーションソフトの活用	有害サイト	虚偽広告・詐欺情報	情報の信憑性	著作権	セキュリティー	プライバシー・肖像権など	電子会議室・掲示板等の利用	電子メールの使い方	電話・FAXの使い方	正しい理解（読む・書く・話す・聞く）	学習内容（メディアリテラシーの育成に関わる内容）
6	上	続けてみよう				★																						課題を決めて1年間の出来事をスクラップブックにする。
		カレーライス																										
		漢字の形と音・意味																										
		生き物はつながりの中に																										
		漢字の広場①																										
		短歌・俳句の世界																										
		暮らしの中の言葉																										
		ガイドブックを作ろう	★			★				★		★		★	★	★	★			★	★			★	★			読む人のために必要な要素と効果的な書き方を考えガイドブックをつくって交流する。
		よりよい文章に												★											★	★		★	文が相手にあったものか、伝えたいことがはっきり分かるか、表記や表現は適切か、題名や書き出しも見直す習慣をつける。
		漢字の広場②																										
		学級討論会をしよう	★																						★	★			相手の意見の長所、短所を分析的に考え相手を説得したり、論点を的確にとらえて結論を導く。
		森へ																							|★|		効果的な表現の仕方を味わい、五感を働かせよう。
		本は友達	★						★					★	★		★				★							カードを用いて情報を整理したり、大切なところをはっきりさせ足りする事に役立てる。
		漢字の広場③																										
		船／りんご																										
		同じ訓をもつ漢字																						★	★			同じ訓をもつ漢字について知り、言葉や漢字についての関心を深める。効果的に漢字を用いる習慣をつける。
		みんなで生きる町	★	★	★	★				★				★	★					★								広く社会に目を向け、問題意識をもち、目的を明確にして、調べたことや考えて事を伝えよう。
		漢字の広場④																										
		日本で使う文字										★																仮名の由来などについて知識をもち言葉や文字への関心を深める。
	下	やまなし																										
		熟語の成り立ち										★												★	★			熟語の構成について知識をもち正しく読んだり書いたりする。
		覚えておきたい言葉																										
		漢字の広場⑤																										
		平和のとりでを築く																						★	★			筆者が訴えたいことを読み取り、平和についての思いや考えをもち、平和について考える姿勢をはぐくむ。
		自分の考えを発信しよう	★			★	★		★			★		★	★			★	★	★	★	★	★					調べる、発信する、交流する場面でインターネットを学習に用い、その特性を理解し正しく活用する。
		漢字の広場⑥																										
		今，わたしは，ぼくは																										
		感動を言葉に																						★	★		★	自分の感動や発見を表現を工夫して詩に書く。
		わたしたちの言葉																						★	★		★	自分たちの言葉や言語生活を見直し話したり書いたりする活動を通して言葉の不思議さやおもしろさ大事さに改めて気づく。
		カンジー博士の漢字クイズ大会																										
		海の命　今，君たちに伝えたいこと　生きる																										

メディアリテラシーの育成指導計画（社会科中学年）

情報活用能力の3観点			メディアリテラシーに関わる内容と方法																									学習内容（メディアリテラシーの育成に関わる内容）
			情報活用の実践力													情報科学的理解		情報社会に参画する態度										
			判断	情報手段の活用												情報手段の特性				情報モラル								
				収集							発信										ルール			マナー				
学年	題材名	過程	情報の取捨選択・整理	人的情報源	電子メディア（CD・DVD等）	印刷メディア（本・新聞・雑誌等）	放送メディア（テレビ・ラジオ）	学校外施設の活用	ネットワーク情報源	デジタルカメラ・AV機器・スキャナ（機器）	手紙・はがき	かべ新聞・新聞・紙芝居・カルタ等	デジタル作品（絵画・グラフ・フォトの作成）	プレゼンテーション	ホームページ作成	コンピュータ情報処理のよさと必要性	アプリケーションソフトの活用	有害サイト	虚偽広告・詐欺情報	情報の信憑性	著作権	セキュリティー	プライバシー・肖像権など	電子会議室・掲示板等の利用	電子メールの使い方	電話・FAXの使い方	正しい言葉（読む・書く・話す・聞く）	
3	わたしたちのまち　足利	つかむ				★		★	★																			写真や地図をもとに足利市に関する学習の意欲を高める
		見通す																										
		調べる	★	★		★		★	★	★										★								実際に見学しながら補助的に様々なメディアを活用して調べる。
		学びあう	★									★															★	集めた資料を整理し新聞等にまとめ発表する。
		広める										★																
	売るしごと・つくるしごと	つかむ		★		★		★	★																			グラフから生産・販売活動に従事する人に気づき資料や観察からそれらについて意欲を持つ
		見通す																										
		調べる	★	★		★		★		★										★								実際に見学しながら補助的に様々なメディアを活用して調べる。
		学びあう	★									★															★	集めた資料を整理し新聞等にまとめ発表する。
		広める										★																
	むかしのくらし今のくらし	つかむ																										
		見通す																										
		調べる	★	★		★			★	★										★								移り変わりについては、図書館などを活用して調べる。
		学びあう	★									★															★	集めた資料を整理し新聞等にまとめ発表する。
		広める										★																
4	安心してくらせるまちに	つかむ			★	★		★	★																			実際に見学したり、資料や映像をもちいてしくみに関心を持つ
		見通す																										
		調べる	★	★		★		★		★										★								家族や地域の人との関わりの中から仕組みを調べる
		学びあう	★									★															★	集めた資料を整理しわかりやすく新聞等にまとめ発表する。
		広める										★																
	健康なくらしをささえる	つかむ		★		★		★	★																			水道水の確保やゴミの行方に関して資料を用いて調べたり、他地区や外国と比べたりして関心を持つ
		見通す																										
		調べる	★					★		★										★								教科書中心に資料を用いて仕組みを調べる
		学びあう	★									★															★	集めた資料を整理しわかりやすく新聞等にまとめ発表する。
		広める										★																
	活躍した先人たち	つかむ				★		★	★																			足利学校について資料や教科書を見て関心を持つ
		見通す																										
		調べる	★			★		★	★	★										★								実際に見学し、また、市のデータベースを用いて調べる。
		学びあう	★									★															★	集めた資料を整理しわかりやすく新聞等にまとめ発表する。
		広める										★																
	わたしたちの栃木県	つかむ				★		★	★																			栃木全図や統計資料を用いて他地域との関わりなどに関心を持つ
		見通す																										
		調べる	★			★		★	★											★								資料や教科書を用い足利市と比べながら調べる。
		学びあう	★									★															★	集めた資料を整理しわかりやすく新聞等にまとめ発表する。
		広める										★																

メディアリテラシーの育成指導計画（社会科高学年）

情報活用能力の3観点			メディアリテラシーに関わる内容と方法																									学習内容（メディアリテラシーの育成に関わる内容）
			情報活用の実践力													情報科学的理解		情報社会に参画する態度										
			判断	情報手段の活用												情報手段の特性		情報モラル										
				収集							発信										ルール			マナー				
学年	題材名	過程	情報の取捨選択・整理	人的情報源	電子メディア（CD・DVD等）	印刷メディア（本・新聞・雑誌等）	放送メディア（テレビ・ラジオ）	学校外施設の活用	ネットワーク情報源	デジタルカメラ・AV機器・スキャナ（画像）	手紙・はがき	かべ新聞・新聞・紙芝居・カルタ等	デジタル機器（画像作成・グラフ・ワープロの活用）	プレゼンテーション	ホームページ作成	コンピュータ情報処理のよさと必要性	アプリケーションソフトの活用	有害サイト	虚偽広告・詐欺情報	情報の信憑性	著作権	セキュリティー	プライバシー・肖像権など	電子会議室・掲示板等の利用	電子メールの使い方	電話・FAXの使い方	正しい理解（読む・書く・話す・聞く）	
5	日本の農業水産業	つかむ				★		★	★								★											写真や統計資料の特徴から日本の農業水産業の様子をつかむ。
		見通す																										
		調べる	★		★	★	★	★	★											★								教科書や資料集、必要に応じて映像資料やインターネットを用いて調べる。
		学びあう	★									★		★	★												★	集めた資料を出典を明らかにしながらさまざまな形にまとめ発表する。
		広める										★																
	日本の工業生産	つかむ				★		★	★								★											写真や統計資料の特徴から日本の工業のようすをつかむ。
		見通す																										
		調べる	★		★	★	★	★	★											★								教科書や資料集、必要に応じて映像資料やインターネットを用いて調べる。
		学びあう	★									★		★	★												★	集めた資料を出典を明らかにしながらさまざまな形にまとめ発表する。
		広める										★																
	日本の通信産業	つかむ				★	★	★	★								★											写真や統計資料の特徴から通信産業の様子をつかむ。
		見通す																										
		調べる	★		★	★	★	★	★											★								教科書や資料集、資料映像を中心にインターネット等も用いて調べる。
		学びあう	★									★		★	★												★	集めた資料を出典を明らかにしながらさまざまな形にまとめ発表する。
		広める										★																
	国土の自然	つかむ				★		★	★								★											写真や統計資料の特徴から国土の自然をつかむ。
		見通す																										
		調べる	★		★	★	★	★	★	★										★								教科書や資料集、図書館やインターネットを用いて調べる。
		学びあう	★									★	★	★	★						★						★	集めた資料を出典を明らかにしながらさまざまな形にまとめ発表する。
		広める										★																自分の住んでいる足利の特徴を捉え、ほかの地域と比較しながら発信する。
6	歴史的分野	つかむ				★		★	★								★											資料の人物や遺跡、歴史的建造物などから時代の特徴背景をつかむ。
		見通す							★																			
		調べる	★		★	★		★	★											★								教科書や資料集、必要に応じて映像資料やインターネットを用いて調べる。
		学びあう	★									★		★	★						★						★	集めた資料を出典や著作権に注意しながら好きな形にまとめ発表する。
		広める										★		★	★													
	政治の働き	つかむ				★	★		★								★											インターネットやテレビ、新聞等、最新の話題から学習課題をつかむ。
		見通す																										
		調べる	★	★		★	★	★	★											★								教科書や資料数を中心に、本やインターネットを用いて調べる。
		学びあう	★									★		★	★						★						★	集めた資料を出典や著作権に注意しながら好きな形にまとめ発表する。
		広める										★																
	世界の中の日本	つかむ			★	★	★		★								★											インターネットやテレビ、新聞等、最新の話題から学習課題をつかむ。
		見通す																										
		調べる	★	★	★	★	★	★	★											★								映像ライブラリーや事典、本を中心にインターネット等も用いて調べる。
		学びあう	★									★		★	★						★						★	集めた資料を出典や著作権に注意しながら好きな形にまとめ発表する。
		広める										★		★							★							

メディアリテラシーの育成指導計画（理科中学年）

情報活用能力の3観点			メディアリテラシーに関わる内容と方法																									
			情報活用の実践力													情報の科学的理解		情報社会に参画する態度										
			判断	情報手段の活用												情報手段の特性		情報モラル										
				収集							発信										ルール		マナー					
学年	巻	題材名	情報の取捨選択・整理	人的情報源	電子メディア（CD・DVD等）	印刷メディア（本・新聞・雑誌等）	放送メディア（テレビ・ラジオ）	学校外施設の活用	ネットワーク情報源	デジタルカメラ・ムービー・スキャナ（撮影）	手紙・はがき	かべ新聞・新聞・紙芝居・カルタ等	デジタル作品（文書・グラフ・ワープロの活用）	プレゼンテーション	ホームページ作成	コンピュータ情報処理のよさと必要性	アプリケーションソフトの活用	有害サイト	虚偽広告・詐欺情報	情報の信憑性	著作権	セキュリティー	プライバシー・肖像権など	電子会議室・掲示板等の利用	電子メールの使い方	電話・FAXの使い方	正しい言葉（読む・書く・話す・聞く）	学習内容（メディアリテラシーの育成に関わる内容）
4	上	○ 生き物のくらしを感じよう			★	★	★																					様々な映像資料をもとに生命をとらえる
		1 春の自然					★						★															観察を通して資料を収集しそれをもとに生命をとらえる
		2 電気の働き		★			★																					実際に使われている様子を生かして働きを調べる
		○ 電池工場へ行ってきたよ																										
		○ 夏の自然					★						★															観察を通して資料を収集しそれをもとに生命をとらえる
		○ 夜空を見よう			★	★	★	★	★								★											観察や疑似体験を通して資料を収集しそれをもとに星の動きをとらえる。
		自由研究	★	★		★		★		★		★	★	★	★					★	★					★	★	これまでの学習をもとに地域施設やコンピュータ等を活用して研究を進める
		3 月や星			★	★	★	★	★								★											観察や疑似体験を通して資料を収集しそれをもとに星や月の動きをとらえる。
		○ もっと宇宙を知りたい	★		★	★		★	★																			星の観察の歴史やさいきんの研究を知り天体に対する興味関心を深める。
		4 空気や水を閉じこめること																										
		○ 秋の自然					★						★															観察を通して資料を収集しそれをもとに生命をとらえる
	下	○ みんなで使う理科室																										
		5 ものの温度とかさ																										
		○ 冬の自然					★						★															観察を通して資料を収集しそれをもとに生命をとらえる
		○ 生き物新聞										★	★															
		6 もののあたたまり方																										
		7 水のすがた																										
		○ 生き物の1年間																										
3		○ 生き物たんけんに出発																										
		1 たねをまこう																										
		2 ちょうをそだてよう																										
		○ 植物のつくりと育ち																										
		自由研究				★		★		★		★														★	★	これまでの学習をもとに研究を進める
		○ 昆虫を探そう																										
		○ 植物の一生																										
		3 影のできかたと太陽の光			★																							資料映像を生かして活動を進める
		4 あたたかさと太陽の光			★																							資料映像を生かして活動を進める
		○ わたしたちのくらしと日光			★																							資料映像を生かして活動を進める
		5 電気で明かりを付けよう																										
		6 磁石の不思議を探ろう																										
		○ ようこそおもちゃランドへ																										

メディアリテラシーの育成指導計画（理科高学年）

			メディアリテラシーに関わる内容と方法																									学習内容（メディアリテラシーの育成に関わる内容）
情報活用能力の3観点			情報活用の実践力													情報の科学的理解		情報社会に参画する態度										
			判断	情報手段の活用												情報手段の特性		情報モラル										
				収集							発信										ルール			マナー				
学年	巻	題材名	情報の取捨選択・整理	人的情報源	電子メディア（CD・DVD等）	印刷メディア（本・新聞・雑誌等）	放送メディア（テレビ・ラジオ）	学校外施設の活用	ネットワーク情報源	デジタルカメラ・AV機器・スキャナ（の活用）	手紙・はがき	かべ新聞・新聞・紙芝居・カルタ等	デジタル機器（自作・グラフ・ワープロの活用）	プレゼンテーション	ホームページ作成	コンピュータ情報処理のよさと必要性	アプリケーションソフトの活用	有害サイト	虚偽広告・詐欺情報	情報の信憑性	著作権	セキュリティー	プライバシー・肖像権など	電子会議室・掲示板等の利用	電子メールの使い方	電話・FAXの使い方	正しい理解（読む・書く・話す・聞く）	
6	上	○ わたしたちの地球			★	★																						様々な映像資料をもとに地球をとらえる
		1 ものが燃えるとき					★																					
		2 ヒトや動物の体			★	★	★		★																			必要な情報を収集し各器官のしくみや働きをしらべる。
		3 生物とかんきょう																										
		○ 自然を守る取り組み	★			★	★		★																			様々なメディアの情報から生物と環境の関わりに興味を持つ。
		自由研究	★	★		★		★		★		★	★	★	★					★	★					★	★	これまでの学習をもとに地域施設やコンピュータ等を活用して研究を進める
		4 水よう液の性質																										
	下	5 大地をさぐる			★	★	★	★	★																			映像資料を活用し疑問を持つ
		6 大地の変化	★	★	★	★	★	★	★	★		★		★	★		★	★			★					★	★	興味のある事象を選択し地域施設やコンピュータ等を活用して調べ発表する
		○ 自然災害に備えよう		★	★	★	★	★	★																			自然の地域生活に及ぼす影響やそれに対する取り組みを知り、自分なりに考える。
		7 電磁石のはたらき																										
		○ 通信の変化と私たちの生活				★	★		★																			昔の通信の仕組みを知り、通信の変化に興味を持つ。
		8 自然と共に生きる	★	★	★	★	★	★	★			★		★	★	★	★			★						★	★	様々なメディアの資料を収集し活用して発表する。
		○ 希望をもって未来へ																										
5	上	○ 受け継がれる命			★	★	★																					様々な映像資料をもとに生命をとらえる
		1 植物の発芽と生長					★																					
		2 動物の誕生		★	★	★	★		★	★																		必要な情報を収集し生命誕生しくみをしらべる。
		3 花から実へ																										
		○ いろいろな花の花粉																										
		自由研究	★	★		★		★		★		★	★	★	★					★	★					★	★	これまでの学習をもとに地域施設やコンピュータ等を活用して研究を進める
		台風と気象情報	★			★	★	★	★																			必要な情報を収集し台風および気象の変化しくみをしらべる。
		4 わたしたちの気象台	★	★		★	★	★	★																			必要な情報を収集し台風および気象の変化しくみをしらべる。
		5 てんびんとてこ																										
	下	6 ながれる水の働き	★		★	★	★		★																			必要な情報を収集し川の流れのしくみをしらべる。
		7 もののとけ方														★												電子はかりやコンピュータソフトを用いる。
		○ 水溶液の不思議を探る																										
		8 おもりが動くとき														★												センサーやコンピュータソフトを用いて正確に測定し、条件を制御しながら規則性を追求させる

指導する学年
状況に応じて指導する学年

情報モラル指導計画

3年	4年	5年	6年	Web上の注意	コミュニケーションと掲示板	電子メールの利用	ネット社会への基本的態度
							1 パスワード
				1 見たくないものがでたら			
				2 入ってはいけない大人のページ	1 電子掲示板	1 電子メール	2 情報の信ぴょう性
				3 アンケートに注意	2 書き込みの注意点	2 チェーンメール	3 著作権
				4 ブログって？	3 個人情報は大切	3 迷惑メール	4 携帯電話
				5 フィッシング詐欺	4 チャットでのトラブル	4 コンピュータウィルス	
				6 ダウンロード	5 知らない人との出会い	5 詐欺のわな	5 ネット依存
							6 法律を守ろう

コンピュータリテラシの指導学年のめやす

	内　容	学習目標	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	コンピュータ	本体の電源を入れ、ウィンドウズを起動したり、終了したりできる。						
2	マウス	左クリックができる						
		右クリックができる						
		ダブルクリックができる						
		ドラッグができる						
3	キーボード	ソフトウェアキーボードを使って入力することができる						
		ローマ字入力をすることができる						
4	FDドライブ	フロッピーディスク正しくセットしたり、取り出したりできる						
5	CDドライブ	CD-ROMを正しくセットしたり、取り出したりできる						
6	ファイル操作	データに名前をつけて保存することができる						
		データを読み出すことができる						
		データを上書き保存ができる						
7	お絵かきソフト	スタンプを使うことができる						
		ペンで絵を描くことができる						
		画面全体を消すことができる						
		消しゴムを使って消したいところを消すことができる						
		絵を印刷することができる						
		インターネット等から引用することができる						
		表やグラフをつくることができる						
		アニメーションをつくることができる						
		声や音、音楽を貼り付けることができる						
8	ワープロソフト	漢字変換をすることができる						
		カタカナ変換することができる						
		文字の大きさを変えることができる						
		文字の色や下線等の装飾をすることができる						
		文字フォントを変えることができる						
		罫線を引くことができる						
		用紙や書式をを設定することができる						
		絵や写真を挿入することができる						
		印刷することができる						
9	インターネットブラウザ	ブラウザを起動しホームページを開いたり閉じたりすることができる						
		先生のおすすめページを開くことができる						
		目的にあったページをクリックにより開くことができる						
		検索文字を入力して目的のページを開くことができる						
		必要なページを印刷することができる。						
10	メールソフト	メールを読むことができる						
		書式のきまりを守ってメールをつくり送ることができる						
		メールにファイルを添付して送ることができる						
		CC、BCCメールを送信することができる						
11	チャット、掲示板、会議	ソフトを開いたり閉じたりすることができる						
		自分の所属するものを読むことができる						
		ルールに従って書き込みをすることができる。						
		スレッドを切ることができる						
12	ホームページ作成	作成ソフトを開いたり閉じたりできる						
		色や大きさを工夫して文字を入力することができる						
		ソフトに付属するボタン等の素材を活用することができる						
		ファイルに保存させた写真を貼ることができる						
		動く文字（マーキー）や既成のアニメーションを使うことができる						
		リンクを張ることができる						
		HTML形式に保存することができる						
13	紙芝居 プレゼンテーション	作成ソフトを開いたり閉じたりすることができる						
		色や大きさを工夫して文字を入力することができる						
		基本図形やペンを使って絵を描くことができる						
		絵や写真を貼り付けることができる						
		適した背景を選ぶことができる						
		表やグラフを貼り付けることができる						
		現れ方、消え方などを工夫することができる						
		保存したり、呼び出したりすることができる						
14	デジタルカメラ	写真を撮影することができる						
		コンピュータに画像を取り込むとができる						
		画像を目的にあわせて加工することができる						
15	スキャナ	資料を取り込むことができる						
		適切な画質を選ぶことができる						
		画像を目的に応じて加工することができる。						
16	ネットワークディスク	サーバー等のディスクからファイルを読み出す事ができる						
		サーバー等のディスクに意図的に保存する事ができる						

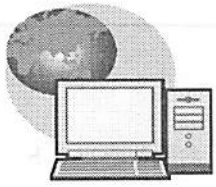
コンピュータリテラシのチェックシート（６年　組　番氏名　　）

	内　　容	学　習　目　標	6年	1学期	2学期	3学期
1	コンピュータ	本体の電源を入れ、ウィンドウズを起動したり、終了したりできる				
2	マウス	左クリックができる				
		右クリックができる				
		ダブルクリックができる				
		ドラッグができる				
3	キーボード	ソフトウェアキーボードを使って入力することができる				
		ローマ字入力をすることができる				
4	FDドライブ	フロッピーディスク正しくセットしたり、取り出したりできる				
5	CDドライブ	CD-ROMを正しくセットしたり、取り出したりできる				
6	ファイル操作	データに名前をつけて保存することができる				
		データを読み出すことができる				
		データを上書き保存ができる				
7	お絵かきソフト	スタンプを使うことができる				
		ペンで絵を描くことができる				
		画面全体を消すことができる				
		消しゴムを使って消したいところを消すことができる				
		絵を印刷することができる				
		インターネット等から引用することができる				
		表やグラフをつくることができる				
		アニメーションをつくることができる				
		声や音、音楽を貼り付けることができる				
8	ワープロソフト	漢字変換をすることができる				
		カタカナ変換することができる				
		文字の大きさを変えることができる				
		文字の色や下線等の装飾をすることができる				
		文字フォントを変えることができる				
		罫線を引くことができる				
		用紙や書式をを設定することができる				
		絵や写真を挿入することができる				
		印刷することができる				
9	インターネットブラウザ	ブラウザを起動しホームページを開いたり閉じたりすることができる				
		先生のおすすめページを開くことができる				
		目的にあったページをクリックにより開くことができる				
		検索文字を入力して目的のページを開くことができる				
		必要なページを印刷することができる。				
10	メールソフト	メールを読むことができる				
		書式のきまりを守ってメールをつくり送ることができる				
		メールにファイルを添付して送ることができる				
		CC、BCCメールを送信することができる				
11	チャット、掲示板、会議	ソフトを開いたり閉じたりすることができる				
		自分の所属するものを読むことができる				
		ルールに従って書き込みをすることができる。				
		スレッドを切ることができる				
12	ホームページ作成	作成ソフトを開いたり閉じたりできる				
		色や大きさを工夫して文字を入力することができる				
		ソフトに付属するボタン等の素材を活用することができる				
		ファイルに保存させた写真を貼ることができる				
		動く文字（マーキー）や既成のアニメーションを使うことができる				
		リンクを張ることができる				
		HTML形式に保存することができる				
13	紙芝居 プレゼンテーション	作成ソフトを開いたり閉じたりすることができる				
		色や大きさを工夫して文字を入力することができる				
		基本図形やペンを使って絵を描くことができる				
		絵や写真を貼り付けることができる				
		適した背景を選ぶことができる				
		表やグラフを貼り付けることができる				
		現れ方、消え方などを工夫することができる				
		保存したり、呼び出したりすることができる				
14	デジタルカメラ	写真を撮影することができる				
		コンピュータに画像を取り込むとができる				
		画像を目的にあわせて加工することができる				
15	スキャナ	資料を取り込むことができる				
		適切な画質を選ぶことができる				
		画像を目的に応じて加工することができる。				
16	ネットワークディスク	サーバー等のディスクからファイルを読み出す事ができる				
		サーバー等のディスクに意図的に保存する事ができる				

情報教育だより

平成１７年１０月２８日
足利市立山前小学校
校長 車塚　己喜雄

情報を正しく活用する能力を育てる～今年度の新しい教育活動～



１学期に「学校だより」でお知らせしましたが、山前小学校では、今年度から足利市教育委員会の委託を受け、「情報活用能力と情報モラルの育成」の研究実践に取り組むことになりました。

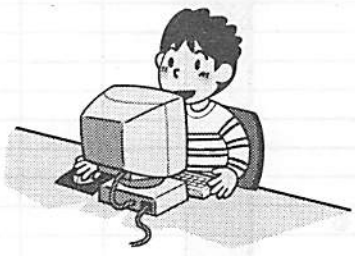
インターネットの普及により、多種多様なコミュニケーションが可能になり、様々なサービスを利用できるようになりました。その利便性や有用性は、私たちの生活に欠かせないものになっています。その一方で様々な有害情報や犯罪が氾濫し、子どもたちにも悪影響を及ぼす恐れも出てきています。子どもたちを守るために学校でも、家庭でもインターネットの利用について考えてくことが大切です。

実践の取り組みとして、次のようなことが考えられます。

- **情報活用能力の育成を視点に、情報教育指導計画を見直し、改善する。**
- **各教科、総合的な学習の時間などの授業を通して、指導方法、情報の活用法を研究する。**
- **特別活動、道徳などの授業を通して、情報モラルを育成する指導のあり方を研究する。**
- **家庭や地域との連携のあり方を研究する。**

今後、定期的に「情報教育だより」を発行していきますので、よろしくお願いいたします。裏面にインターネット利用の一般的な注意点を掲載しましたので、一読ください。

また、別紙「明るく、安全なネット社会の十七条の憲法」を見やすいところに掲示しご活用ください。



情報教育だより

家庭におけるインターネット利用の注意点

インターネット上の主な犯罪行為

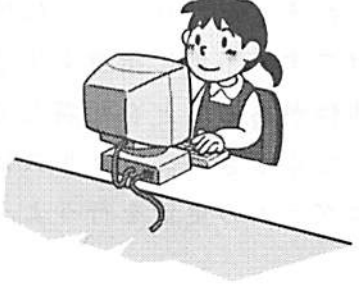
◎他人のID・パスワードを悪用する行為(不正アクセス禁止法違反)
◎ネットオークション等における架空販売行為
◎出会い系サイト等による児童売春ポルノ法違反、出会い系サイト規制法違反、わいせつ画像をインターネットで公開するわいせつ物公然陳列
◎インターネットの掲示板を利用した犯行予告行為　　など

インターネット利用のあり方

1．インターネット社会でも、実社会と同じルールとマナーを守る。
2．他人のプライバシーを尊重する。
3．住所・氏名などの個人情報を入力するときは、十分に注意する。
4．ID・パスワードなどの管理を徹底する。
5．他人のミスを大げさに指摘しない。
6．メールを送る前に、内容をよく確認する。
7．面と向かって言えないことは書かない。

インターネットを家庭で利用するときのチェックポイント

☆コンピュータの使い方について話し合いましたか。
☆保護者の目の届くところにパソコンが置いてありますか。
☆子どもがパソコンで何をしているのか把握していますか。
☆有害なホームページを見ることができないようにする、フィルタリングソフトを利用していますか。
☆家庭でパソコンを使うルールを作りましたか。
☆インターネットの履歴を確認することができますか。



情報教育だより

平成18年7月20日
足利市立山前小学校
校長 車塚　己喜雄

インターネットには「光」と「影」があります。この「影」の影響からできる限り身を守るために、セキュリティという考え方があります。ネットワークにつながっていることで、悪い人が外から侵入してシステムを破壊したり、データを盗んだり、といった出来事が起こるのです（例：クラッカーによる攻撃）。これらのことから身を守るために、コンピュータをインターネットにつなげている限り、セキュリティには十分に注意して必ず対策をして下さい。

パスワードについて

家庭で使うときには、基本的に、大人がパスワードを管理するようにしてください。また、定期的に、パスワードは変更が必要です。これらのパスワードには、本人の名前や誕生日といった本人の情報から推測しやすいものや、非常に簡単なもの、意味のある単語を使ったものなどは使わないようにしましょう。悪い人はこういったパスワードを破るための辞書を使うので、意味のある単語だと、パスワードを破られてしまう可能性が高いのです。

プライバシーの守り方

インターネットのページの中には、アンケートやら懸賞への応募やらで、住所や電話番号を記入させるページがあります。これらのページの中には、ダイレクトメールなどの名簿を作るための情報を集めるためのページや、情報を悪用するためのページもあります。したがって、子供たちが、こういったページに気軽に個人情報を書き込んでしまわないように、十分注意して、指導する必要があります。

コンピュータウィルスについて

コンピュータウィルスは、以前は、感染しているパソコンから、フロッピーディスクなどを経由して感染することが多かったのですが、最近では、ネットワークを経由した感染が主流になっています。ネットワークを経由した場合、ダウンロードしたプログラムに含まれていたり、添付ファイルの中に含まれていたり、添付ファイルがウィルスプログラムそのものだったりします。したがって、ダウンロードしたデータや、メールの添付ファイルには注意が必要です。差出人に心当たりのないメールや添付ファイルがあったら、それはすぐに捨ててしまうようにしましょう。また、ウィルスに感染したことに気がつかず、誰かにメールを送ったりすると、その送った相手までが、ウィルスに感染してしまうかもしれません。ウィルスに感染したままにしておくと、自分が加害者となる可能性もあるわけです。子供に指導をするときにも、自分が困るだけではなく、多くの人の迷惑になる可能性があることを強調してください。また、パソコンには必ずワクチンプログラムを導入してください。ウィルスは日々進化するので、最新の情報を入手し、こまめにワクチンプログラムの更新を行うようにしてください。

国語科学習指導案

1年2組　指導者（T1）　髙野　久美子
（T2）　久保　百合子
（T3）　安藤　　成子

1　単元名　おもい出して　かこう
～いい　こと　いっぱい、一年生～

2　単元目標

・　一年間の思い出をいろいろ思い浮かべ、必要な材料を集めて書こうとすることができる。（国語への関心・意欲・態度）

・　アルバムに書く題材に必要な事柄を集め、・事柄の順序を考えながら、語と語や文と文との続き方に注意して書くことができる。（書くこと）

・　句読点やかぎを文中で正しく使うことができる。（言語事項）

3　単元設定の理由

（1）教材について

一年生の児童は、入学してから様々なことを経験し、この一年間で大きく成長している。本単元では、入学してからの思い出について写真をもとに文章を書き、アルバムにまとめることを目的としている。児童は様々な写真を見てこの一年間を振り返り、その中から自分で必要な材料を集め、自分の成長を自分の言葉で綴ったアルバムを作る。伝えたいことを書く力を向上させることが目的ではあるが、児童の書きたいという気持ちを大切にすることで、書くことの楽しさを十分に味わえる単元である。一年間の思い出を自由に楽しく綴りながら、書くことのまとめとしたい。

4　単元指導計画（本時　3／10）

時数	ねらい	主な学習活動
1 2	・思い出アルバムを作ることを知り、文章の書き方を理解することができる。	・写真を手がかりに、1年間の思い出アルバムを作ることを知る。 ・教材文を参考にしながら、文章の書き方を知る。
3 （本時）		・学校行事の写真を見ながら、それぞれの思い出を発表しあう。 ・遠足について、文章を書く。
4 5 6 7	・思い出アルバムを作ることができる。	・アルバムに入れる写真を数枚選ぶ。 ・選んだ写真について文章を書く。 ・書いた文章を読み返し、主述の関係が正しいか、句読点やかぎが正しく使えているか見直す。
8		・これまでに書いた文章をカードに清書し、仕上げる。
9		・アルバムのカードを並べ、表紙を作り、完成させる。
10	・アルバムを見せ合い、感想を持つことができる。	・アルバムを見せ合い、感想を交流する。

5　本　時

（1）目　標

（全　体）　遠足の様子を思い出し、読む人によく分かるように、事柄の順序を考えながら書くことができる。

（支援児童）　遠足の様子を思い出し,自分が経験したことを書くことができる。

（2）展　開(別紙)

（3）評　価

（全　体）　電子情報ボードを用いて文章を考えさせたり発表させたりしたことで、遠足の様子を思い出し順序を考えながら書くことができたか。

（2）展　開

◎メディアリテラシーを育む視点
☆特別な支援を必要とする児童への手だて

学　習　活　動	時間	支援上の留意事項
1　学校行事の写真を見ながらそれぞれの思い出を発表しあう。 1年かんをおもい出そう。	8	・様々な行事の写真を入学式から順に提示し、1年間の思い出を振り返らせる。 ◎写真が見やすいように、電子情報ボードを使って1年間の写真を大きく提示し、思い出を自由に発言できるようにする。
2　遠足の写真を見ながら思い出を発表し、文章を書く。 えんそくのことをおもい出して、文しょうをかこう。	25	☆A児が意欲的に取り組めるように、事前に楽しかった行事を聞いておく。 ・写真が見やすいように、遠足の写真を電子情報ボードを使って大きく提示する。 ・遠足の写真を数枚用意して、時間の流れに沿って思い出せるようにし、その思い出を自由に発言できるようにする。 ◎電子情報ボードに提示した写真の中に、児童の発言を復唱しながら直接書き込み、視覚的にも確認できるようにする。 ☆安心して一文字ずつ書けるように、マス目があるワークシートも用意する。 ・書き出しでとまどってしまわないように、書き出しの文は教材文を参考にしてみんなで考える。 ◎迷ったときは、電子情報ボードに書き込まれた言葉を見ながら、文を作れるように、常に提示しておく。 ☆平仮名一覧表を用意しておき、思い出せない平仮名があったときは見せるようにする。 ・他の行事についてのワークシートも用意しておき、すべての児童が最後まで集中して活動できるようにする。
3　文章を発表する。 じぶんでかいた文しょうをはっぴょうしよう。	10	◎視覚的にも情報を得られるように、書いた文章をスキャナで読み取り、電子情報ボードを使って発表させる。
4　次時の活動を知る。 おもい出アルバムに入れる、しゃしんをえらぼう。	2	・写真が用意できるように、事前に家庭へ協力を依頼しておく。 ・写真が用意できなくても不安にならないように、学校でも用意してあることを伝え、次時の活動に意欲的に取り組めるようにする。

国語科学習指導案

授業者　池田　幸子
場　所　１年２組

1　単元名　おはなしをたのしもう　「たぬきの糸車」

2　単元目標

・場面の様子を想像したり、声に出して読んだりして、お話を楽しむことができる。（関心・意欲・態度）
・話の内容がよく伝わるように、文章や言葉の響きについて考えながら声に出して読むことができる。（読むこと）
・書こうとする題材に必要な事柄を集めている。（書くこと）
・平仮名や片仮名を正しくはっきりした発音で読んでいる。（言語事項）

3　単元設定の理由

（１）教材について

一年生の児童は、入学当初の挿絵をもとに物語を読むことや、動作化をしながら物語を読み取る活動を通して、文字を自在に読める喜びと、自分の思いを表現する楽しさを、一つ一つの教材を学習するごとに味わってきた。

本単元では、今までの学習から体験した国語の力を存分に出し合い、児童の想像力を働かせながら国語の学習の楽しさを確かめ合うことをねらいとしたい。「たぬきの糸車」は、物語の展開が明快であること、登場人物が魅力的であること、情景が描かれていることから、たぬきの言葉を自由に想像することで、物語への思いを膨らませながら、楽しく読み合わせていきたい。

また、おすすめのお話を紹介する活動が設定されている。たくさんの作品のよさを知ることで、さらに活発な読書活動を促し、読書の楽しみを共有することの楽しさを味わわせたい。

4　単元指導計画（本時２／１３）

時数	ねらい	主な学習活動
1	おすすめのお話を紹介することができる。	・今までに読んだお話から友だちに薦めたいものを決める。
2（本時）		・紹介する内容を確認する。 ・紹介カードを作る。
3		・みんなにお話を紹介する。
4		・友だちが紹介したお話を読み、感想を伝える。
5	範読を聞いて想像しながら読み合うことができる。	・題名や挿絵から、お話の内容を想像し、あらすじをつかむ。
6	好きな場面を見つけることができる。	・本文を読み、好きな場面やおもしろい言葉を見つけ、発表する。
7～10	情景や登場人物の気持ちを想像して読むことができる。	・六つの場面に分け、音読する。 ・家の様子やたぬきのいたずらについて想像する。 ・たぬきやおかみさんの気持ちを想像し、発表する。
11～13	好きな場面を選んで、工夫して読み、発表することができる。	・好きな場面の絵をかき、文を視写する。 ・好きな場面をどのように読むか考え、練習をする。 ・みんなで発表し合い、楽しむ。 ・友だちの発表のよかったところを伝え合う。

5　本時

（1）目　標

・おすすめのお話の紹介の仕方を知り、自分の感じたことを書いたり発表したりすることができる。

（2）展　開(別紙)

（3）評　価

・おすすめのお話について、自分の感じたことを書くことができたか。

・聞いている児童にも分かりやすいように発表することができたか。

（2）展　開

○メディアリテラシー育成の視点

学　習　活　動	時間	支援上の留意事項
1　本時のめあてを知る。 わたしのおきにいりのおはなしをみんなにしょうかいしよう。	3	・めあての確認をする。 ・本時のめあてを黒板に提示しておき、活動内容をいつでも振りかえることができるようにしておく。
2　先生のお気に入りのおはなしを聞く。	5	・先生のお気に入りの本として「たぬきの糸車」を紹介し、物語への関心を高める。 ・「たぬきの糸車」を聞くとき、情報ボードを活用し、画面を通して一緒に本を楽しみながら読み進めることができるようにする。
3　紹介カードの書き方を確認する。	5	・情報ボードにワークシートを写しながら、紹介カードの書き方を説明する。 ○本の題名や作者が書いてあるところ（表紙、背表紙等）を紹介して、作者を認識させ、書いた人を大切にできるようにする。 ・本の中で一番好きなところや気に入っているところを自由に書くことを伝える。
4　紹介カードを作る。	15	・なかなか書き始められない児童には、挿絵の中から気に入ったところを一緒に見つけ、書き表せるように声をかける。 ○紹介カードに書いた後に発表することを伝え、分かりやすく書くことを意識させる。
5　みんなにおはなしの紹介をする。	15	・児童の紹介カードをもとに、丁寧に発表の仕方を説明し、自分なりに感じた作品へのおもしろさや気にいっているところについて、自信をもって発表できるようにする。 ○本の作者を紹介することで、作品を大切にする気持ちをさらに意識させるようにする。 ・児童が発表する際、みんなで確認できるように本の題名と作者名を情報ボードで示す。 ・児童が描いた場面絵を情報ボードに写すことで、発表する意欲を高める。 ・発表にとまどう児童には、教師がそばについて、声をかけながら、発表ができるようにする。
6　次時の確認をする。	2	・次時は発表の続きを行ったり、友だちの紹介した本を読み合ったりすることを伝える。

国語科学習指導案

平成１８年１１月１６日（木）
２年２組　Ｔ１　髙野　久美子
Ｔ２　加持　智子
難聴児支援　安藤　成子

1　単元名　ようすを考えて読もう　「お手紙」

2　単元目標

- 登場人物の気持ちや場面の様子を想像しながら読んだり、声に出して読んだりして、お話を楽しむことができる。（関心・意欲・態度）
- がまくんやかえるくんの気持ちがよく表れるように、語や文のまとまり、声の大きさなどに注意して読むことができる。（読むこと）
- 登場人物にあてて書く手紙であることを考えながら書くことができる。（書くこと）
- 文の中においては、主語と述語との関係に注意することができる。（言語事項）

3　単元指導計画（本時　１０／１８）

時数	ねらい	主な学習活動
1	本文中の面白いと思う箇所を指摘することができる。	・手紙を書いたりもらったりした経験を話し合う。 ・本文を読み、面白いと思ったところを発表しあう。
２～６	がまくんとかえるくんの言動から気持ちを想像しながら、音読することができる。	・誰の会話文であるかに注意しながら、全文を読む。 ・登場人物に手紙を書くことを知る。 ・がまくんとかえるくんの気持ちや様子を読み取る。
７・８	登場人物の言動や気持ちを考え、楽しく音読することができる。	・役割を決めて、音読の練習をする。 ・音読の発表をする。 ・工夫したところを発表しあう。
９～１４（本時）	登場人物にあてて、思ったことを手紙に書くことができる。	・手紙を書くときに気をつけることを確認する。 ・誰に宛てて手紙を書くかを決める。 ・書く事柄を考えて、手紙を書く。 ・書いた手紙を発表する。
１５～１８	主語と述語を知り、主語と述語が整った文を書くことができる。	・主語と述語の意味と関係が分かる。 ・教科書の絵を見て文を書く。

4　本　時

（1）目　標

（全体）「お手紙」の登場人物の一人の気持ちを考え、喜んでくれるような手紙を書くことができる。

（支援児童）「お手紙」の登場人物から一人を選び、自分の気持ちを手紙に書くことができる。

（2）展開

☆特別な支援を必要とする児童への手だて
○メディアリテラシー育成の視点

学習活動	時間	指導上の留意点
1　本時のめあてを知る。 「がまくん」「かえるくん」「かたつむりくん」のだれか一人に、よろこんでもらえるような手紙を書こう。	3	・全員でめあてを読み、確認する。 ☆めあては分かりやすい表現にし、本時の活動内容を理解できるようにする。また、常に確認できるように提示しておく。
2　範読を聞きながら、手紙を出してみたい登場人物を選ぶ。	7	・デジタル教科書を利用することによって、全員の視線を前に向けさせ、教材文に集中できるようにする。 ☆範読に合わせてペープサートを動かし、誰の会話文であるかが確認できるようにする。
3　手紙の書き方を確認する。	10	・かえるくんが書いたお手紙を参考に、手紙には相手（○○へ）、書いた人（自分の名前）を書くことを押さえる。 ・町探検の時の礼状を提示し、どんなことに気をつけて書いたかを思い出させる。 ・丁寧に　・相手の気持ちを考えて ・感謝の気持ちを込めて ☆書き出しで戸惑ってしまわないように、具体的な書き出し方の例示として、教師が考えてきた手紙を紹介する。更に必要な場合はヒントカードとして、教師の例示を参考にさせるようにする。 ○手紙の内容は、相手の気持ちを考えて書くことを確認し、読み直すことの大切さにも気付かせる。
4　手紙を書く。	12	☆自分で文章を考えることが苦手なので、今までのノートを確認し、一番好きな場面を振り返るようにさせたりヒントカードを参考にさせたりする。 ○手紙を書いたあとに発表をすること、全員の手紙を教室に掲示することを伝え、丁寧に書くことを更に意識させるようにする。 ・早く書き終えてしまった児童は、他の登場人物への手紙も書くように指示をする。
5　書いた手紙を発表する。	10	☆発表することが好きなので、A児に意欲が見られるときは指名し、発表させる。自由な発想を賞賛する。 ・発表する児童が書いた手紙を、全員が見られるように情報ボードに提示する。
6　自己評価をし、本時を振り返る。	3	・本時の活動を自己評価し、次時への意欲付けとなるようにする。

（3）評　価

（全体）「お手紙」の登場人物の一人の気持ちを考え、喜んでくれるような手紙を書くことができたか。

（支援児童）デジタル教科書やペープサートを使ったことは、楽しく授業に取り組ませるのに適切であったか。

国　語　科　指　導　案

場　所　　２年３組教室
授業者　　永島 厚洋(T1)
　　加持 智子(T2)
　　安藤 成子(T3)

1　単元名　ようすを考えて読もう～お手紙～（2年下）

2　単元設定の理由

本学級には，授業に集中できない児童が少なくない。また，２名の聴覚障害児が交流で学習することが多い。これらの特別な支援を必要とする児童にとって，視覚・聴覚に直接訴える学習が、興味関心を高める上で有意義であると言われている。その１つの手段として本単元では、電子情報ボードを用いて光村「国語デジタル教科書」を活用していくこととした。このことは，国語の教材に対する関心・意欲を高めるだけでなく，想像力を広げたり理解を深めたりする学習においても，有効な視覚的情報となる。そして，これらは、一部の児童のみならず，すべての児童にとっても有効な手段となると考える。それは，教科書が見開きで大画面に提示されることにより，学習内容に関わる挿絵や写真が拡大提示でき，全員がひとつの画面に注目する機会が増え，一体感のある学習活動となるからである。

本単元は，登場人物の気持ちを考えたり，場面の様子を想像したりしながら物語を読んでいく学習となる。その際，「お手紙」の著者アーノルド＝ローベル自身が描いた挿絵の拡大提示を通して登場人物の表情を感じ取り，言葉だけでは分からない「かえるくん」と「がまくん」の気持ちの推移を読み取っていくようにしたい。

3　学習環境

○大型プラズマＴＶ（パイオニア）
○国語デジタル教科書（光村図書）
○ＰＣ（CPU：PentiumⅢ 1.0ＧＨｚ 以上）

4　本時の指導

（1）目　標

手紙を書いたりもらったりした経験を発表し合い，楽しく学習を始めることができる。

（2）展　開（別紙）

（3）評　価

自らの経験を話したり，本文中のおもしろいと思った箇所を自分なりに指摘したりして，楽しく学習しようとしている。

（2）展開　　※情報ボードの活用　◎特別な支援の手だて

学習活動	時間	・指導上の留意点	準備
1　題名を読み，今まで手紙を書いたりもらったりした経験を話し合う。	5	・自分が手紙をもらったときの気持ちについて思い出させる。 ・自分が書いた手紙を，相手はどんな気持ちで受け取ったかを考えさせる ※それぞれの気持ちを板書する。	
2　「お手紙」を読む。	5	・読んだ後にどんなところがおもしろかったかを聞くことを知らせる。 ※デジタル教科書の範読を聞く。 ◎レーザーポインターでひと文字ひと文字追うことで、読んでいる箇所を明示する。	大型プラズマＴＶ レーザーポインター
3　おもしろいと思ったところを発表し合う。	１８	・自分がおもしろいなと思ったことを、ワークシートに書く。 ※◎デジタル教科書の教科書ビューにサイドラインを引いて，おもしろかったところを視覚的に明確にする。 ※教材文の挿絵を必要に応じて拡大提示する。	ワークシート
4　「お手紙」を読む。	１０	※デジタル教科書の一文読みの後に音読する。 ◎レーザーポインターでひと文字ひと文字追うことで、読んでいる箇所を明示する。	
5　新出漢字を学習する。	5	※新出漢字ウィンドウの筆順アニメーションを用いて空書きをさせることで、児童に筆順を確認させる。	
6　学習のまとめをし，次時の内容を聞く。	2		

第３学年　国語科学習指導案

３年１組　指導者（T1）安藤成子
（T2）金子望美

１．単元名　「へんとつくり」

２．目標　・漢字のへんとつくりについて知り、漢字の組み立てに興味を持つ。

３．単元設定の理由

(1)教材について

これまで漢字の部分に着目させる学習として、２年上で「同じぶぶんをもつかん字」を学習したので、児童は漢字の構成「部分」に多少の知識がある。しかし、そのことと、自らの漢字習得とが結びついていないのが実態である。３年生になって、一挙に増えてきた新出漢字に学習が追いつけずに、漢字の学習に負担を感じ始めてきた児童もいる。この時期に、漢字の部分に着目させることは、漢字の意味を押さえると同時に、漢字の形には一定の型があることを知ることになり、合理的に漢字習得ができることにつながる。

４．単元指導計画（本時　１／２）

時数	ねらい	主な学習活動
1	漢字のへんとつくりについて知識をもち、漢字への興味を深める。	・漢字には、左と右の二つの部分に分けられるものがあることを知り、「へん・つくり」の名称と意味を理解する。 ・同じへんの漢字を集める。
2	漢字の組み合わせゲームを通して「へん」と「つくり」に興味を持たせる。	・「へん」と「つくり」に分けられる漢字を集め、漢字組み合わせゲームの問題をつくって取り組む。 ・漢字を類別する。

５，本時

（１）目標　（全体、B 児）漢字のへんとつくりについて知識をもち、漢字への興味を深める。
（支援児童 A 児）自席で漢字の共通部分を見つけることができる。

（2）展開

◎メディアリテラシーを育む視点　　☆特別な支援を必要とする児童への手だて

学習活動	時間	支援上の留意事項	準備
1　漢字の組み合わせゲームをする。 「休」「体」	5	・「休」「体」を二つに分けたカードを配布し、合体漢字をつくらせる。 ◎興味を促すために、パワーポイントを使って動きのある答えを提示する。	コンピューター ビデオプロジェクター カード （パワーポイント）
2　本時のめあてを知る。 合体漢字を見やぶろう	2	☆本時のめあてを知ると共に、本時で扱う漢字と学習の流れを提示して見通しをつけさせる。	
3　漢字はいくつかの部分に分けることができることを知る。 ・二つの部分に分けられる漢字 いくつの部分が合体しているかな？	１０	・６個の漢字を提示し、いくつの部分に分けられるか考えさせる。 ・隣の友だちと相談させ、分ける部分に色を塗り、友だちの意見を大切にすることなどを意識させる。 ・発表させるとともに、パワーポイントで答え合わせをする。	ワークシート１ （二人用）
4　漢字を構成する部分に共通しているものがあることを知る。 合体してるもののなかまはなんだろう？	5	・漢字を構成する部分には、共通しているものがあることに気付かせる。	
5　共通な部分をもつ漢字の仲間分けをする。 合体漢字を見やぶろう １．なかまわけをしよう ２．ひみつをさぐろう ・へんとつくり ・部首の名前	２０	・本時は左右に分けられる漢字についてだけ学習することを知らせる。 ・各自、ワークシートを使って、共通する部分に着目した漢字の仲間分けをさせる。 ☆漢字を書かずに矢印等を使って、仲間が分かればよいことを知らせる。 ◎話し合いのルールに従って、隣の友だちと話し合わせ、発表し合う。 ◎パワーポイントを使って答え合わせをする。 ・「へん」「つくり」という名称を知らせ、ワークシートに分けた部首の名前を話し合い確認する。	ワークシート２ （個人） ワークシート３ （個人）
6　次時の活動を知る。 今まで学習した漢字の合体漢字クイズ大会をしよう	3	・教科書付録の漢字から、クイズを考えることを予告し、次時の活動に意欲的に取り組めるようにする。	

学級活動活動案

授業者　　奥澤　浩和
場　所　　コンピュータ室

1　活動名　　「メールについて考えよう」

2　題材設定の理由

電子メールは、従来コンピュータを使ったネットワーク上でのコミュニケーション手段として今まで広まってきた。しかしながら、新しい技術を使った通信手段があまりにも早く普及してしまったため、法律などの社会制度の整備が間に合わずに、情報ネットワークの利用を通してのトラブルが発生することが多くなっている。児童にも、塾通いが始まる年齢あたりから、携帯電話をもつ児童が増え始め、電子メールで保護者や友だちと連絡のやりとりをする児童も少なくない。携帯電話の操作や電子メールサービスの利用の機会が急速に増えているが、情報モラルを学ぶ機会は保証されていないのが現状である。

指導にあたっては、校内ＬＡＮを用いて全員にアドレスを配し、実際にメールのやりとりをしながら指導する。文字を媒体として伝えると、時間や場所にしばられることなく相手に意志を伝えられるというよさがある。その反面、顔の表情や口調などの微妙なニュアンスが伝わらないために、書いた人の思わくとは違ったイメージを与えることがあることを押さえ、文字で気持ちを伝えることの特性に気付かせたい。つまり、文字で気持ちを伝えるときには相手がどのように受け止めるのかをよく考え、自分の気持ちが上手に伝わらなかったり、相手がいやな思いをしたりすることに気付くようにしていきたい。そして、相手の状況や気持ちをじっくり考えてメールを送ることが大切である事を理解させたい。

メディアに関係なく安易にメールを送ることが、まわりの人に迷惑をかけてしまうことがある可能性をはらんでいるということを踏まえ、基本的なルールやネットワークの混乱を教えることで、メールの内容によらずチェーンメールを転送してはならないこと等も指導していきたい。

3　児童の実態

家庭訪問の時に数件の保護者から携帯電話を使わせている話や、家庭でもコンピュータを使って調べ学習をしている等の話を聞いている。また、本校でも携帯メールが原因となる児童同士のトラブルが報告されている。そこで、本授業を前にアンケートも実施してみた。

4　本時の指導

（1）目　標

メールの特性や注意点を知り、適切に活用できるようにする。

（2）展　開　（別紙）

（3）評　価

メールをもらった相手の立場を考えながら、積極的にメールを送受信しようとしている。

（2） 展 開

学 習 活 動	時間	教 師 の 支 援	準 備
1 前時に送受信したメールを読み返し、マナーや注意する事について話し合う。	7		校内 LAN メールソフト（個別）
前の時間にやりとりしたメールを読み返してみましょう		・過去に自分が送信したメールを開かせ、気付いたことを話し合わせる。 ・下記のような視点を投げかける。 ・題名（件名）の付け方 ・本文中の宛名、自分の名前 ・言葉遣い ・不完全、不明瞭な文章	
・メールをやりとりするためのマナーを確認する。			
2 様々なメールを通してメールの特性や送る場合の注意点などを話し合う。	15		ワークシート（個別）
ワークシートの問題に答えてみましょう。		・メールの便利な点について話し合わせる。	提示資料（一斉）
・メールの特性について考えを深め、文字で伝える難しさを考える。 ・「すごくおかしかった」のフレーズでメールを受けた人は「変だと思った」のか「おもしろかった」のか判断する。 ・正しい言い方を書き、読み返して確認する。 ・不幸の手紙型チェーンメールの対応について考える。 ・善意によって伝えられるチェーンメールの対応について考える。		・メールの心配なところを話し合わせる。 ・「文字だけで伝える」というメールの特性を理解させる。 ・ メールを書くときの注意点として、表現の選択や読み返す習慣を確かめる。 ・文例を読んで感じたことを発表させる中で、どうすればよいのか判断させる。 ・内容の真偽にかかわらず、どうすべきか考えさせる。 ・他にも「鉄腕ダッシュメール」等、チェーンメールのよくない点をスライドで示す。	
3 メールに関する問題に答える。	5	◎絵を見て文章をしっかり読み、状況を正しく把握して、正解になるまで解答するように指示する。	リンク URL（個別）
今日の学習の確かめをしましょう。			
・問題に取り組む。			
4 マナーや注意点を考えて友達に返信メールを送る。 ・学習の確かめとともに新たな課題を確認する。	18	・送信前にチェックすることを伝え、本時の学習を生かして、今までのメールに返信メールを送らせる。 ◎先生機で内容をチェックしてから送信し、必要があれば指導する。 ・迷惑メールを準備しておき、返事をどうするか判断させる。	校内 LAN メールソフト（個別）

総合的な学習の時間活動案

授業者　永島　厚洋
場　所　コンピュータ室

1　活動名　　電子メールの利用　　～メールを便利に、安全に使おう～

2　題材設定の理由

児童が、コミュニケーションの手段のひとつとしての電子メールを、その特性に合わせて、安全に利用するために、便利さや使うときのルールやマナーについて取り扱う。

近年のインターネットの急速な普及と進歩は、児童のインターネット社会へ参加する機会を急増させている。携帯電話では、年々、低年齢層での所持率が上昇している傾向にある。携帯電話を持つことは、電子メールや web 利用の機会を増やし、情報化の影の部分として事件に巻き込まれる危険性も増す。

今後、児童が調べ学習や交流活動等で電子メールを効果的に活用できるように、また電子メール利用の際、被害に巻き込まれることのないよう、そして加害者にならぬよう、電子メールの正しい利用の仕方とマナーについて指導していきたい。

指導に際しては、すでに電子メールを利用している児童の経験も生かしながら、「あんしんあんぜん情報モラル」という市販ソフトを中心に用い、便利さや使うときのルールやマナーについて考えさせたい。また、最近本校で問題となった「不幸のメール」の事例も取り上げながら、受信したメールには、問題が含まれていることを理解させ、問題を含んだメールを見極める力と、適切に対処していく態度を身につけさせたい。

3　指導計画

時間	題材名	指導内容
1	メールを 便利に使おう	・メールの便利さや使うときのルールマナーを理解する。 ・パソコンメールと携帯メールの共通点や違いについて考える。 ・メディアの特性にあった情報活用を心がけるようになる。
2 (本時)	こんなメールを 受け取ったら ①チェーンメール	・「チェーンメール」がどういうものかがわかる。 ・受け取った場合には適切に対処することができるようになる。
3	こんなメールを 受け取ったら ②　「迷惑メール」	・「迷惑メール」がどういうものかがわかる。 ・受け取った場合には適切に対処することができるようになる。
4	こんなメールを 受け取ったら ③「コンピュータウィルス」	・「コンピュータウィルス」がどういうものかがわり、感染を予防するための対策が適切にできるようになる。
5	こんなメールを 受け取ったら ④「危ないリンク」	・電子メールを利用した詐欺がどういうものかわかり、被害にあいそうな場面で適切な行動がとれるようになる。

4　本時の指導

（1）目　標

「チェーンメール」がどういうものかがわかる。

受け取った場合には適切に対処することができるようになる。

（2）展　開（別紙）

（3）評　価

チェーンメールの問題性について考えることができたか。

適切な対処法が理解できたか。

（2）展　開　　○メディアリテラシー育成の視点

学　習　活　動	時間	教　師　の　支　援	準　備
1　今日の学習課題を知る。 こんなメールを受け取ったらどうする？	2	・学習課題を、前面のホワイトボードに提示する。	提示資料
2　友だちどうし、メールのやりとりをする。	5	・電子メールを利用する上で気をつけなければならないことについて再確認する。 ・活動中にチェーンメール「幸せのメール」を流し児童の反応を見守る。	メールソフト （個別）
3　教師からの「幸せメール」を読み、メールに対する自分の考えをアンケートで答える。	3	〈アンケート選択肢〉 ・絶対に誰にも送らない。 ・いけないと思うが、誰かに送ってみたい。 ・誰かに送ろうと思った。 ・すでに送ってしまった。	アンケートソフト （個別）
4　選んだ選択肢について自分の考え（選んだ理由）を発表する。	15	・どんな意見に対しても共感的な態度で聞く。 ・児童の考えに揺さぶりをかける。 〈予想される児童の考え〉 ・みんなに幸せを分けてあげたいから送ろうと思った（送った）。 ・おもしろそうだから送ろうと思った（送った）。 ・自分が不幸になりたくないから送ろうと思った（送った）。 ・ウソの作り話だから無視する。 ・自分が送った人に迷惑となるから、絶対に送らない。 ○流されたメールの問題点を考えさせる。	ホワイトボード
5　再び、アンケートに答える。	3	〈アンケート選択肢〉 ・絶対に誰にも送らない。 ・いけないと思うが、怖いから誰かに送るかもしれない。 ・送る。	アンケートソフト （個別）
6　資料映像を見て、チェーンメールの問題点について考える。	12	・資料映像を見ることを通して身近な事象としてとらえさせる。 ・チェーンメールには「誰か他の人に送らなければならない」というメッセージが含まれていることを押さえる。 ○どんな場合にもチェーンメールを送ってはいけないことを押さえる。 ○チェーンメールを送った時点で加害者になってしまうことを認識させる。 ・送られたチェーンメールを削除させる。	提示映像資料（一斉） ワークシート （個別） メールソフト （個別）
7　今日の学習を確かめよう ・チェーンメールを受け取ったらどうすればよいのか、教師あてにメールを出す。	5	・感じたこと思ったことなどもまとめさせる。	メールソフト （個別）

学級活動活動案

授業者　　奥澤　浩和
場　所　　コンピュータ室

1　活動名　　ネット社会への基本態度

「法律を守ろう」～知らなかったは許されない～

2　題材設定の理由

ここでは児童が情報社会で安全によりよく生活するために、危険回避を目的とする情報安全教育と、日常的な道徳観の延長線上にある情報倫理教育として情報モラルを取り扱う。

インターネットが社会一般に普及してきたことにより、光の部分と同時に、影の問題もクローズアップされつつある。とりわけ、全世界と結ばれたネットワーク上では、これまでの法律では予想していなかった問題が発生し、ネットワークを使った事件も多発している。

このような中でここでは、児童が、現在、及び学校教育を終え社会に巣立った将来においても事件に巻き込まれ、被害者、ましては加害者となることのないよう、守らなければならないことがあることを知り、情報社会に参画する態度を養いたい。

具体的には、情報モラル教育のまとめとして、これまで、調べ学習やホームページ作成において指導を繰り返してきた、ネット社会のマナー・ルールについても、もう一度考えさせたいと考えた。「あんしんあんぜん情報モラル」という市販ソフトを中心に用い、子どもの実情に合わせ、また、多くの中学校や高等学校で問題となっているブログ等における言葉の暴力の事例を鑑みて組み入れて指導内容を構成した。

3　指導計画

時間	題材名	内　　容
1	パスワードは ひみつの合言葉	・パスワードがどういうものか分かる。 ・パスワードが情報社会では大切なものであることを知る。 ・パスワードの原則を知り、適切な管理ができるようになる。
2	その情報、 本当かな？	・インターネット上には、間違った情報や古くなってしまった情報があることを知る。 ・情報を比較し正確な情報かどうか判断できるようになる。
3	そのイラスト 使ってもいいの？	・著作物の取り扱いにはきまりがあることを知る。 ・他人の著作物を利用する場合には許可が必要な場合と、許可がなくても使える場合があることを知る。
4 (本時)	法律を守ろう 「知らなかった」 は許されない	・著作権・肖像権の正しい手続きを知る。 ・脅迫・不正アクセス等の違法行為から身を遠ざけることができる

4　本時の指導

（1）目　標

著作権・肖像権について正しい手続きの方法を知る。

脅迫・不正アクセスなどの違法行為から身を遠ざけることができる。

（2）展　開　（別紙）

（3）評　価　　身近な法律を知ること通して一人一人の責任を自覚し、場面に応じて考えることができたか。

（2） 展 開

学 習 活 動	時間	教 師 の 支 援	準 備
1 今日の学習課題を知る。 法律を守ろう ～「知らなかった」は許されない～	3	・オープニング映像で学習課題をとらえさせる。また、常に確認できるように提示しておく。	提示映像資料（一斉）
2 ４つの事象について、前時までの学習をふりかえりながら考える。		・資料映像を見る事を通して身近な事象としてとらえさせる。	提示資料（一斉） ワークシート（個別）
・著作権について考える。	１３	・選択問題形式で既習場面以外の著作権も扱う。 ・著作者の保護という著作権についての概念を確かめ理解を深める。	アンケート集計ソフト（個別） 提示資料（一斉）
・肖像権について考える。	8	・自然な態度で友達の権利を認め、許可を求めるモモコの態度にふれながら考えさせる。 ・肖像権は法律に明記された権利ではなく健保で保証されている人格権に含まれて保護されている。	ワークシート（個別）
・脅迫について考える。	8	・以下２つは、警察の介入とショッキングな資料映像となるが、「いたずら」や「甘え」でも犯罪に違いないことを押さえる。 ・脅迫罪、業務妨害罪に基づく。	提示資料（一斉） ワークシート（個別）
・不正アクセスについて考える。	8	・個人情報の保護、また、パスワードの管理の授業を想起させ、情報を漏らした側の責任を明らかにさせる。 ・不正アクセス禁止等に関する法律に基づく。	提示資料（一斉） ワークシート（個別）
3 今日の学習の確かめをしよう。	5	・ネット社会の利用のルールや法律があり、著作権や肖像権が保護されていること、脅迫の禁止や不正アクセスなど法律を守らないと罰せられることを押さえる。 ・感じたこと、思ったことをまとめさせる。	一斉 ワークシート（個別）

国語科学習指導案

6年4組　指導者　田村有久
場　所　コンピュータ室

1　単元名　　筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう
― インターネットと学習 ―

2　単元目標

・筆者が伝えたいことや社会についての考えを進んで読み取り、それについての自分の考えをもち、発信しようとする。【国語への関心・意欲・態度】
・事象と感想、意見などとを区別するとともに、目的や意図に応じて書き方を工夫することができる。【書くこと】
・事象と筆者の意見、伝えたいことの関係を押さえ、自分の考えをもちながら読むことができる。【読むこと】
・文章にはいろいろな構成があることを理解することができる。【言語事項】

3　単元設定の理由

(1)教材について

本単元は、「平和のとりでを築く」と「自分の考えを発信しよう」「インターネットと学習」から構成されている。「平和のとりでを築く」の読み取りをもとに、「平和」というテーマに関わる多様な材料を集め、自分なりの考えを深め、発信していく学習をさせたい。様々な情報をもとに自分なりの考えを深め、その考えを外部に発信することで表現能力を高めることもねらいとする。従って、本単元は、「発信」に重点を置いた情報活用単元の総仕上げとして位置づけたいと考える。

4　単元指導計画　(本時 13/14)

時数	ねらい	主な学習活動
1	・学習の構えと見通しをもつことができる。	・戦争や平和に関するニュースやドキュメンタリー番組、新聞記事などから、今自分が知っていることについて発表し合う。 ・単元名、教材名から学習の構えをもつ。 ・教材名と第1段落から、自分なりの疑問やもっと知りたいことを出し合い、共通の読みのめあてをもつ。 ・全文の範読を聴き、教材文の内容について見通しをもつ。
2		・全文を読み通して、課題に対する自分の読みをまとめる。 ・新出漢字や意味の分からない語句について確認する。

略

7 8	・「平和」について自分なりの考えをもち、発信することができる。	・筆者の考えなどをもとに、世界に目を向け、自分の立場から「平和」について考える。 ・自分の考えを学校の友だちや家族に発信することに関心をもつ。 ・自分の考えを深め、説得力のある発信をするにはどうすればよいのか、発信の内容や手段、情報収集の方法について検討する。
9 10 11 12 13 (本時)		・自分の考えが説得力をもつように、今までの経験をもとに必要な資料を集め、取捨選択する。 ・集めた資料をもとに、「平和」について自分の考えを書き表す。 ・説得力のある文章にするために、読み合い、助言しながら、効果的な文章の組み立てを考えたり、書き出しや文末表現を工夫したりする。 ・インターネットを活用する上でのルールやマナーについて理解し、文章内容を確かめ、見直す。
14		・相手からの反応が届くように仕組み、友達どうしで交流する。 ・これまでの学習をふりかえり、自分なりの考えをもち発信することの大切さを確認する。

5　本時

（1）目標

【全体】インターネットを活用する上での大切なことやルールを理解するとともに、自分の文章を確かめ、見直すことができる。

【支援児童】インターネットを活用する上での大切なことやルールを大まかに捉え、自分の文章を見直すことができる。

（2）　展開　　◎メディアリテラシーを育む視点
☆特別な支援を必要とする児童への手だて

学習活動	時間	支援上の留意事項	準備
1　インターネットで調べる時の約束やルールを発表する。 インターネットで調べる時に、気をつけなくてはいけないことは何ですか？ 「必要な情報を選ぶ」 「誰が、いつ発信したか」 「信用できる情報か」 「悪いページは相手にしない」	10	◎疑似体験と自分でルールを確認することでインターネットで調べる時の約束を身につけさせる。 ・既習事項を振り返り、発表させる。 ・意見が出ない時には、インターネットの便利な点と不便な点について考えさせる。 ・出た意見を一つ一つ掲示し、視覚的にも確認できるようにする。 ☆既習事項を振り返るように助言する。	・ジャストスマイル ・Benesse 「すくーるおんらいん」 ・ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ協会 「インターネットを利用するためのルールとマナー集」
2　インターネットで発信する時の約束やルールを確認する。 インターネットで発信する時に、気をつけなくてはいけないことは何ですか？ ・話し合い、発表する。 「正しい情報かどうか」 「考えたことと調べたことの区別」 「どんな資料で調べたのか」 「他人を傷つけない」 「個人情報を公開しない」 ・著作権のことについて取り上げ、インターネットで著作権について知る。	15	◎インターネットからの発信において、誰に、何を、何のために行うか意識させる。 ・学習していない点なので、経験上、知り得ている情報を交換させる。 ・出た意見を一つ一つ掲示し、視覚的にも確認できるようにする。 ・いくつか出てきたところで、インターネットで調べ、自力解決させる。 ・新しく知ったことを中心に発表させる。 ☆友達との話し合いに積極的に関わるよう助言する。友達からの情報が重要なので、話しやすい児童の近くに座席を設ける。	・ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ協会 「インターネットを利用するためのルールとマナー集」 ・高知県教育委員会 「情報倫理教育教材」
3　自分の文章を見直し、約束やルールに反していないか調べ、直す。 学習したことを生かして、自分の文章を見直してみましょう。	17	◎情報は引用できないのではなく、条件が整えば引用できることを伝え、情報を引用する際の方法を知らせる。 ・机間指導をし、紹介できそうな作品は「みんなのフォルダ」に保存させる。 ☆そばに寄り添い、一緒に区別する。入力に対して抵抗がある時には、ローマ字表や画面入力をさせる。	
4　完成した作品を紹介し合う。	3	・「みんなのフォルダ」を開き、作品を読み合わせる。 ☆視覚的にも情報を得られるように、スクリーンに映し出して紹介する。	

（3）評価

【全体】インターネットを活用する上での大切なことやルールを理解するとともに、自分の文章を確かめ、見直すことができたか。

【支援児童】インターネットを活用する上での大切なことやルールを大まかに捉え、自分の文章を見直すことができたか。

研　究　員

奥澤　浩和　（山前小学校教諭）
安藤　成子　（山前小学校教諭）
長竹　紀子　（山前小学校教諭）
永島　厚洋　（山前小学校教諭）
池田　幸子　（山前小学校教諭）
高野　久美子　（山前小学校教諭）

研究協力者

車塚　己喜雄　（山前小学校校長）
新藤　伴子　（山前小学校教頭）
森下　一規　（山前小学校教諭）
黒崎　立子　（山前小学校教諭）
金井　千恵子　（山前小学校教諭）
塚越　健夫　（山前小学校教諭）
谷口　道代　（山前小学校教諭）
穴原　眞理子　（山前小学校教諭）
嶋崎　真一　（山前小学校教諭）
金子　望美　（山前小学校教諭）
戸祭　夏美　（山前小学校教諭）
鈴木　治子　（山前小学校教諭）
岡野　綾子　（山前小学校教諭）
太田　記生　（山前小学校教諭）
内藤　しげ子　（山前小学校教諭）
恩田　景子　（山前小学校教諭育休中）
吉田　恵津子　（山前小学校教諭）
飯田　浩子　（山前小学校教諭）
砂川　もと　（山前小学校教諭）
影山　淳子　（山前小学校教諭）
田島　成子　（山前小学校教諭）
酒井　陽子　（山前小学校教諭）
小橋　京子　（山前小学校教諭）
相子　要　（山前小学校教諭）
大山　美登里　（山前小学校養護教諭）
斎藤　静子　（山前小学校講師）
小磯　陽介　（山前小学校講師）
新井　早太　（山前小学校講師）
石井　令子　（山前小学校事務長）
増澤　里枝　（山前小学校主事）
柏瀬　光三　（山前小学校技能員）
塩田　由美子　（山前小学校栄養士）
塚越　洋子　（山前小学校栄養士）
新保　英子　（学びの指導員）
阿由葉　美希　（学びの指導員）
米山　希　（学びの指導員）
加持　智子　（学びの指導員）
小久保　千恵子　（学びの指導員）
田村　浩子　（心の教育相談員）
迫　恵美子　（心の教育相談員）

平成17年度研究員

田村　有久　（海外派遣中）
槍枝　眞理　（けやき小学校教諭）

平成17年度協力者

太田　利江子　（石塚小学校教諭）
相田　文美　（矢場川小学校教諭）
横塚　千恵子　（毛野小学校教諭）
高橋　明子　（富田小学校教諭）
刑部　潔　（梁田小学校講師）
久保　百合子　（城東中学校講師）
堀江　明　（梁田小学校技能員）
阿部　京子　（元山前小学校主事）
石原　瞬　（御厨小学びの指導員）
齋藤　智子　（元学びの指導員）
中島　里枝子　（元学びの指導員）

担当指導主事

岡部　陽一　（足利市立教育研究所）